

幼なじみが

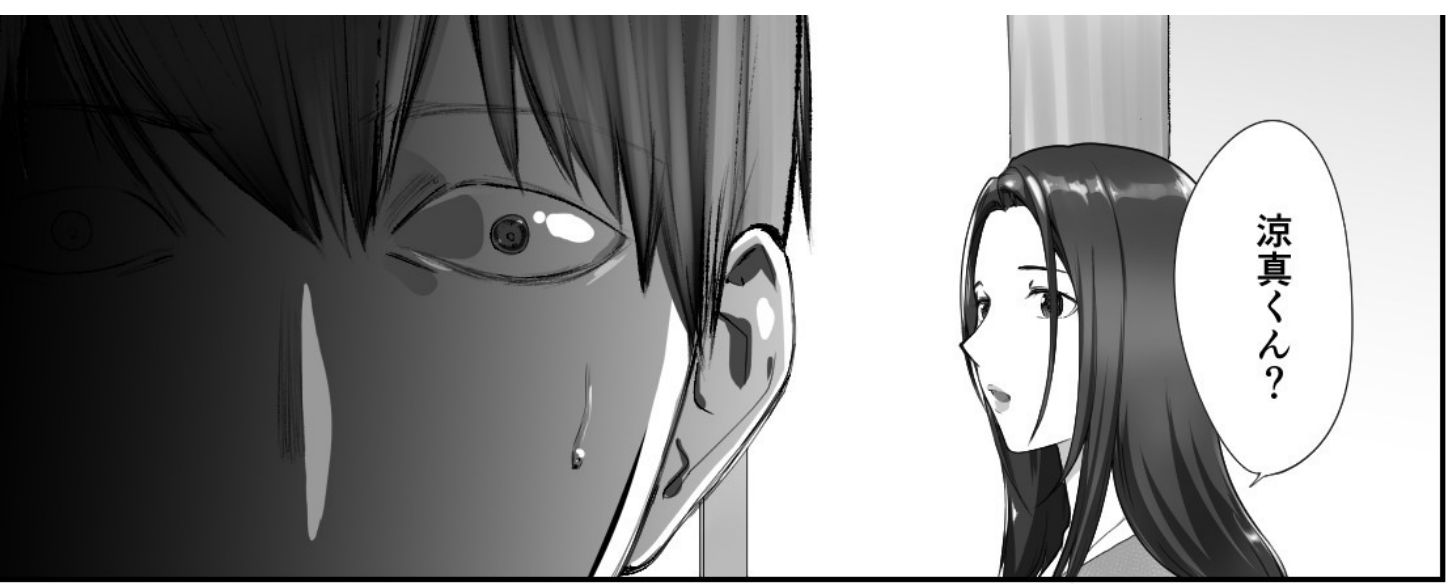
11

ママとママ
ママとママ
ママとママ
ママとママ
ママとママ



ピンク太郎
ピンク作品置き場





涼真くん？



音立てないように
隠れとけよ

うん



ああっと

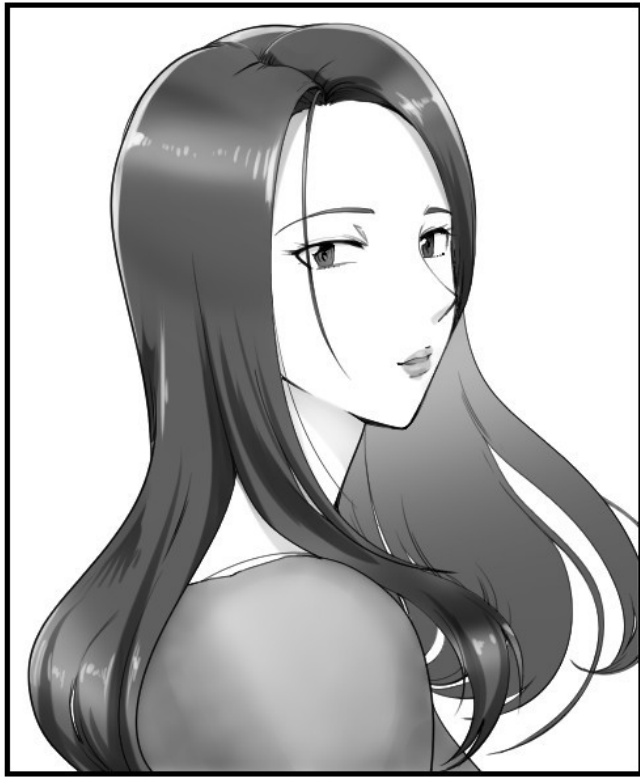
着換えるから
むこう向いてて

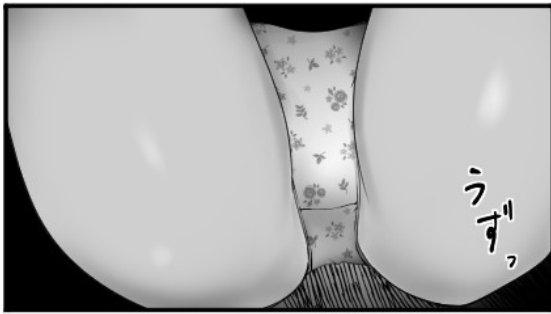
ふふふ
わかった♡

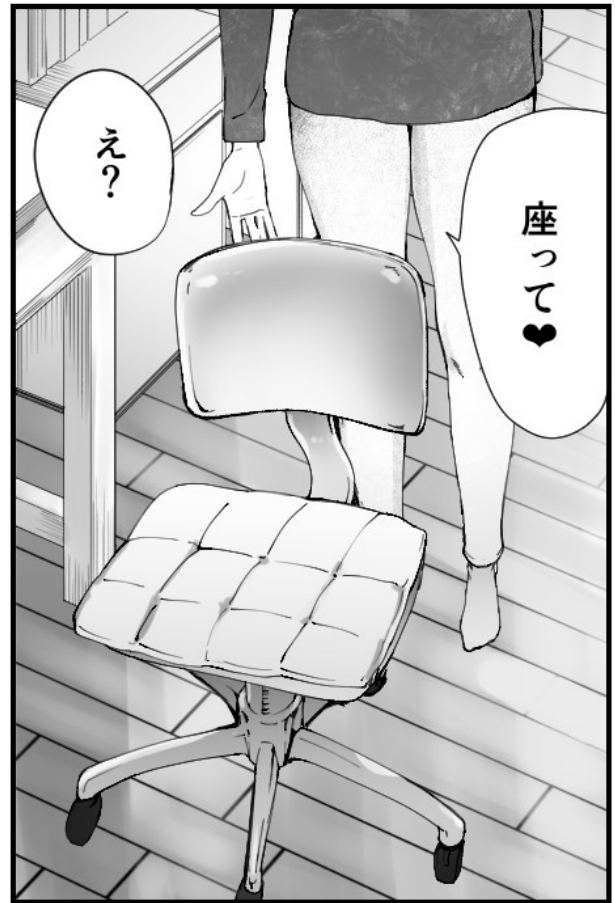


何してんだよ

だって…









とにかく勉強に
集中して…

ハッ



振り払おうって



ごめんなさい




涼真くんにとって
そこまで重荷に
なっっているなんて
気付けなかった

自分の欲求ばかり
押しつけて




涼真くんから

私も
卒業しなきゃね



今までありがとう
深野ママ



僕にとっては

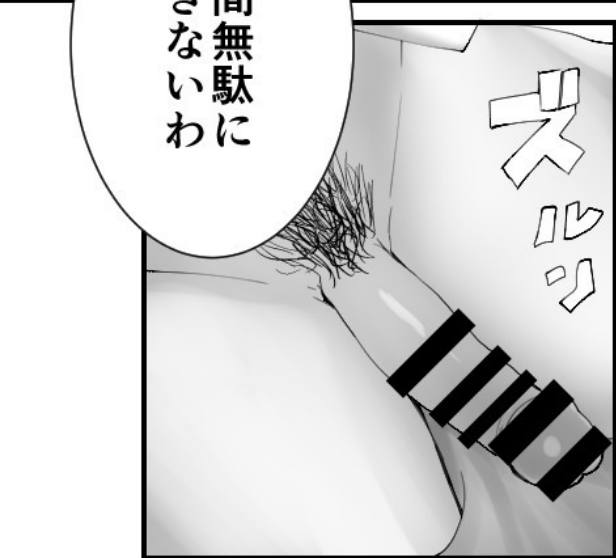
全部かけがえのない
思い出だよ







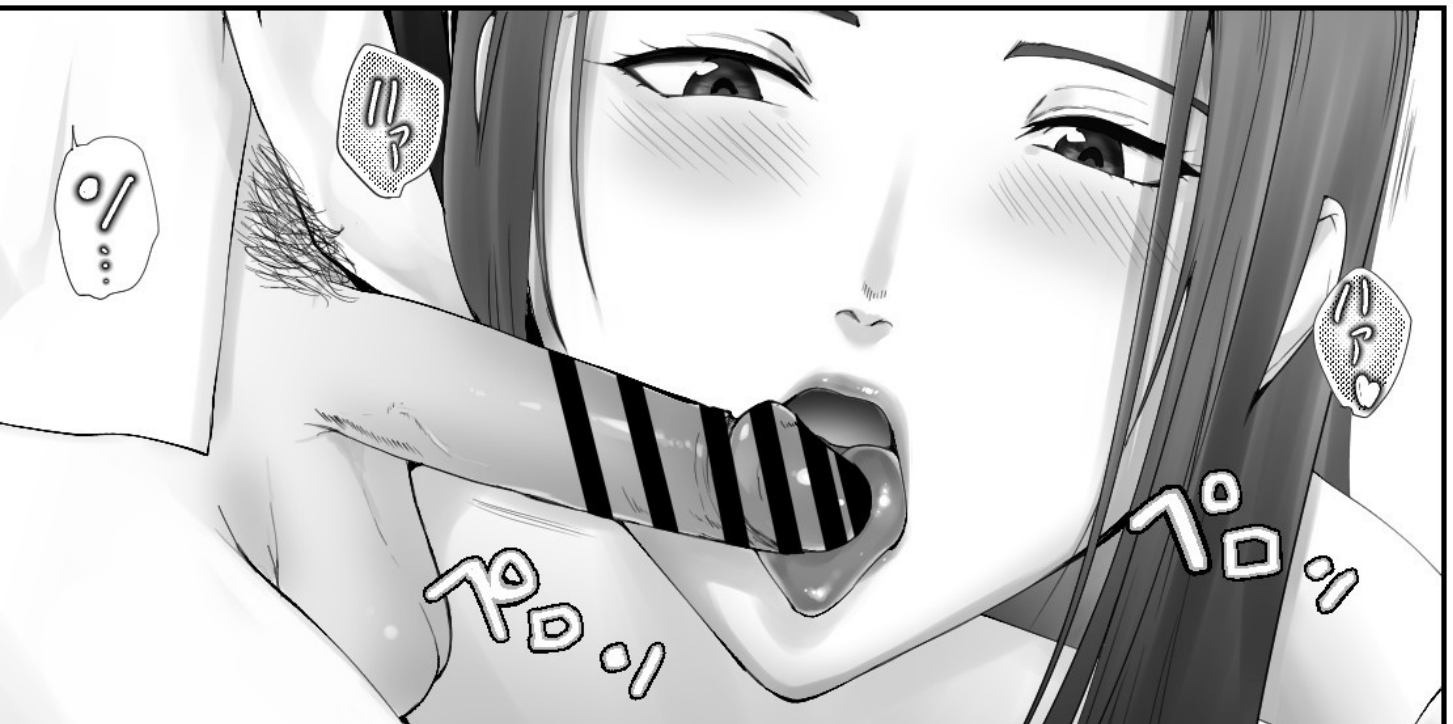
時間無駄に
できないわ



するんだね

当然でしょ？

最後なら尚更





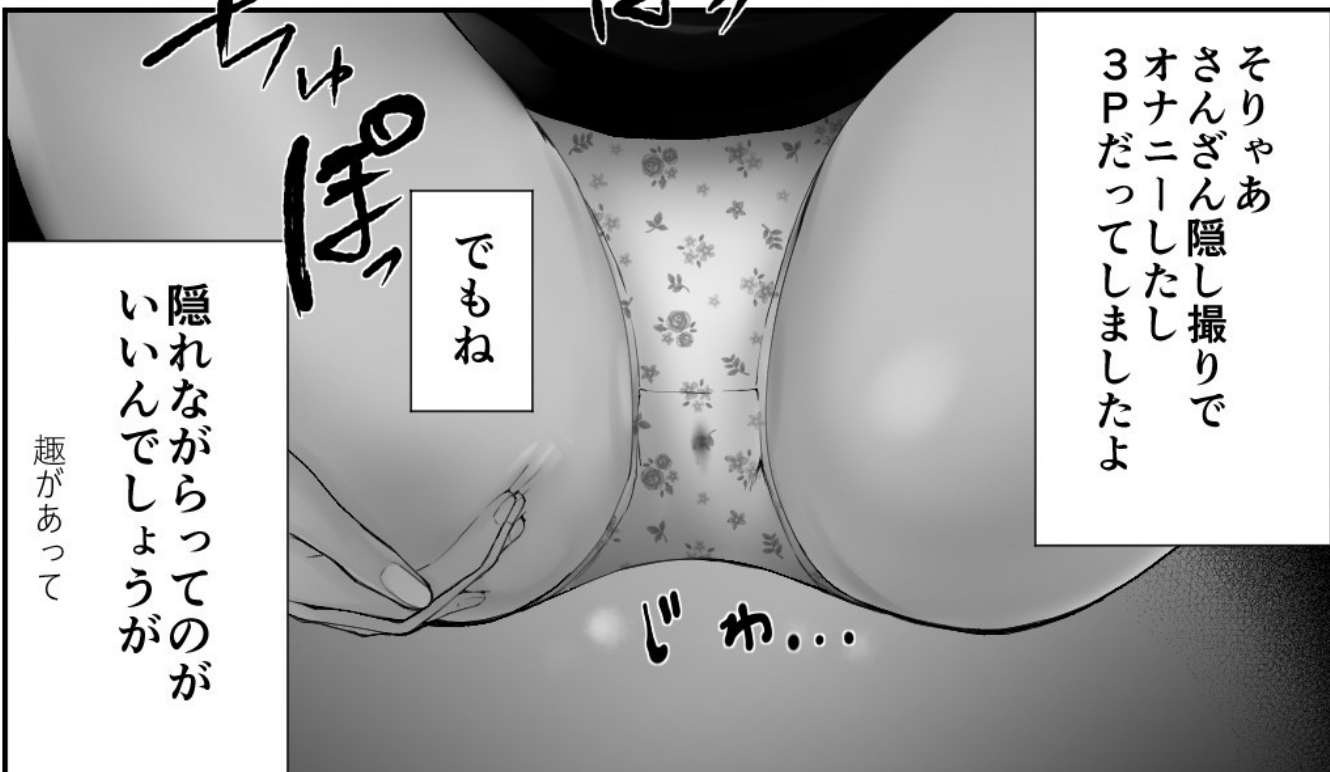
すごい音...

すぐそこで
そんな音出してさあ

エロすぎでしょ

もい

もい



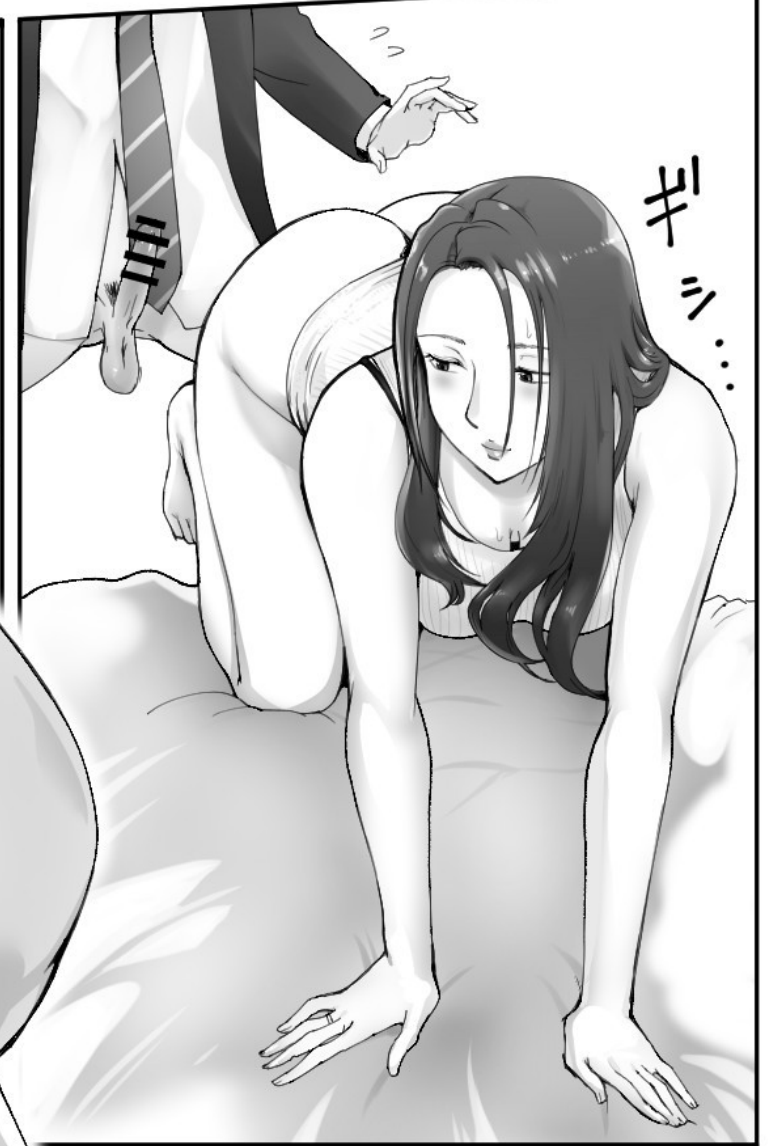
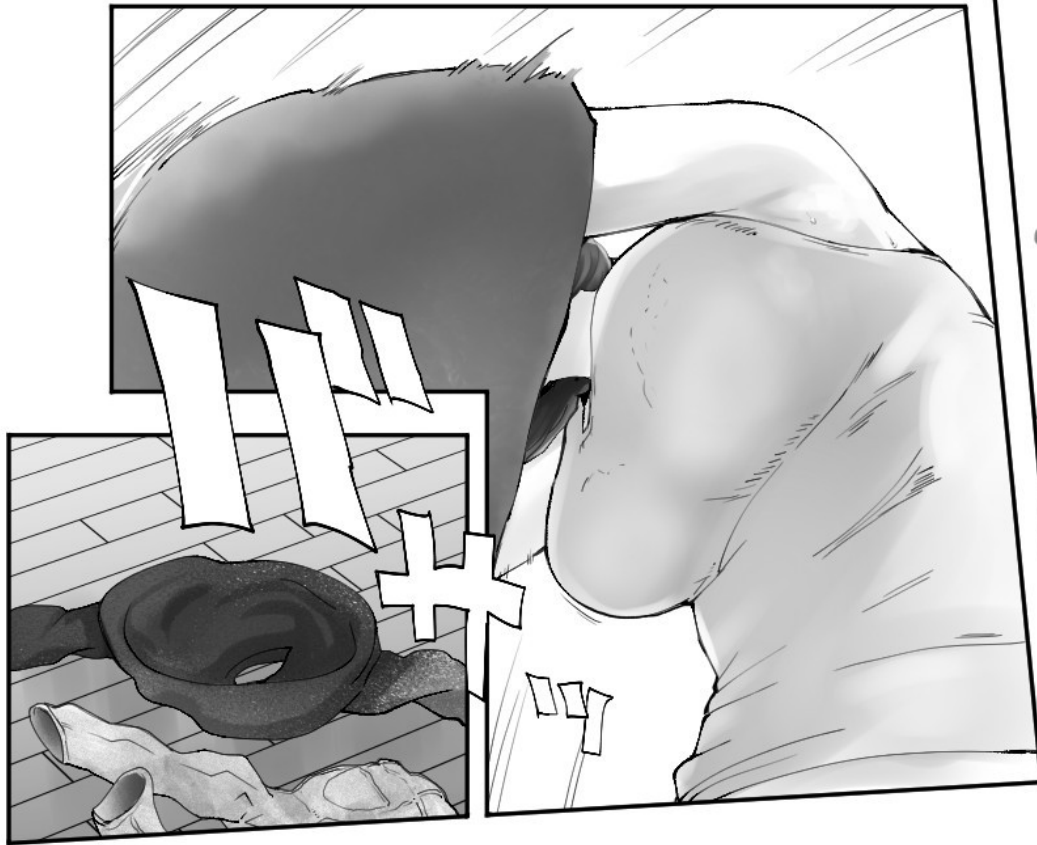
そりゃあ
さんざん隠し撮りで
オナニーしたし
3Pだってしましたよ

でもね

隠れながらってのが
いいんでしょうが

趣があって

じゃあ...



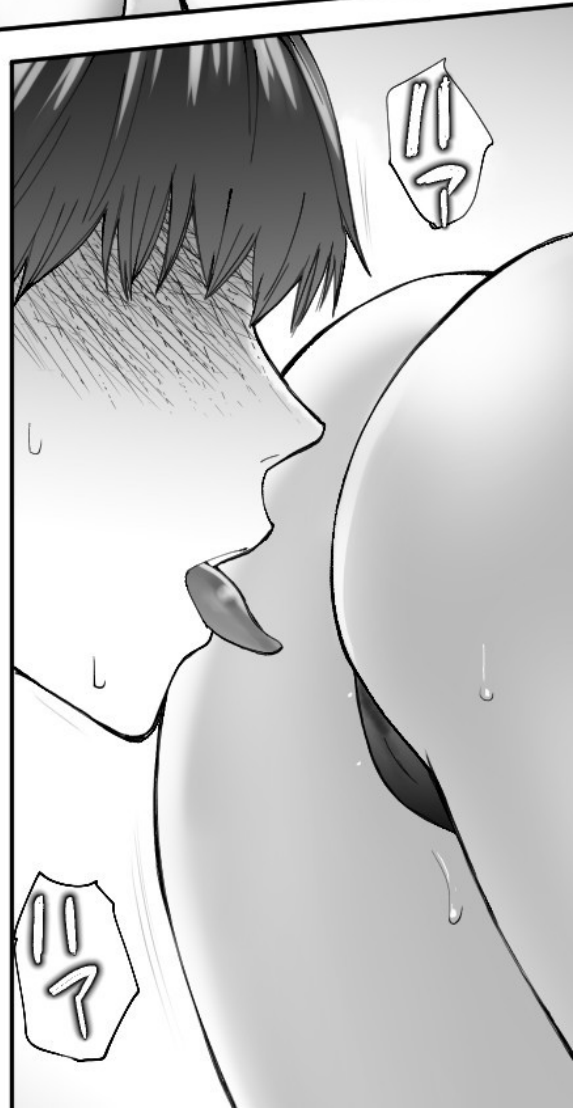


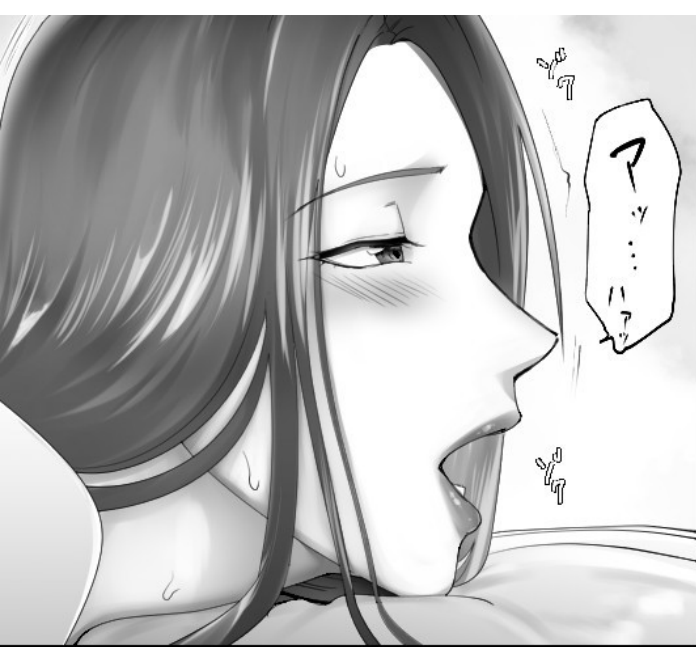
お尻!!

お尻っ

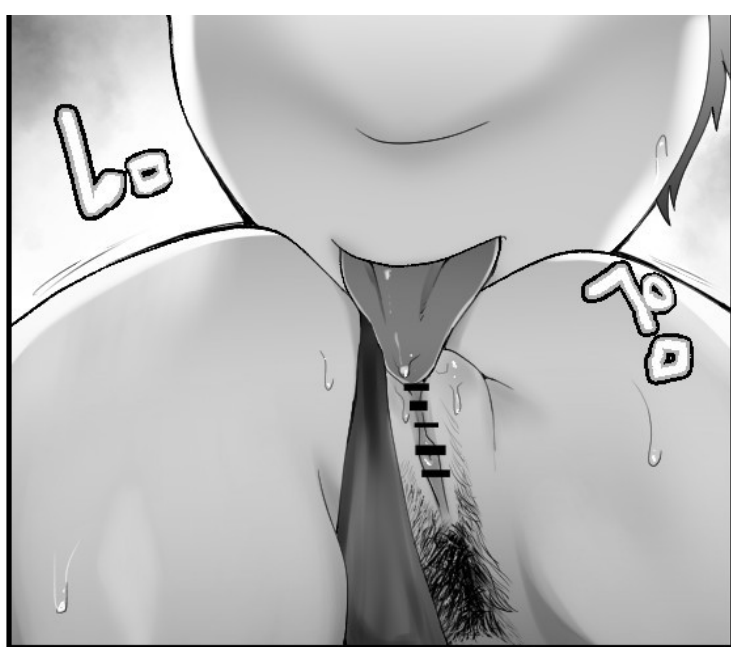


深野ママのお尻ツ!!





ア
ア...
ハア



ゴ

ゴ
ゴ



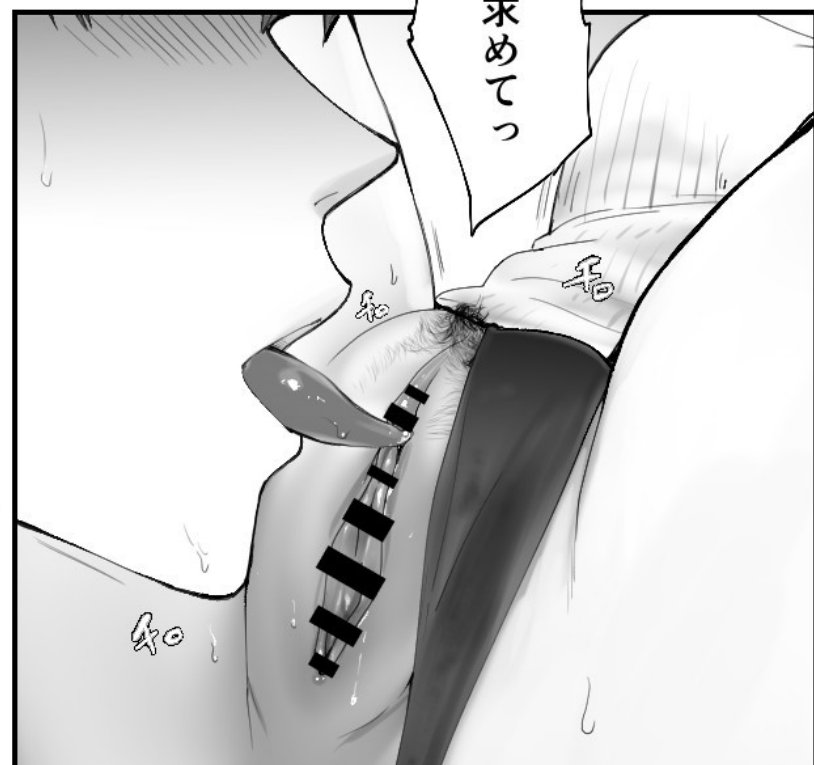
もっ
もっ
もっ

激しく求めてっ



ゴ
ゴ

は
あ
ら



知

知



私の匂いも

触れ合う肌の
感触も

味も

ギョウ

忘れないように……

ハハ

ハハ

%

んっ

んっ

あ
やう
うっ

んっ
んっ

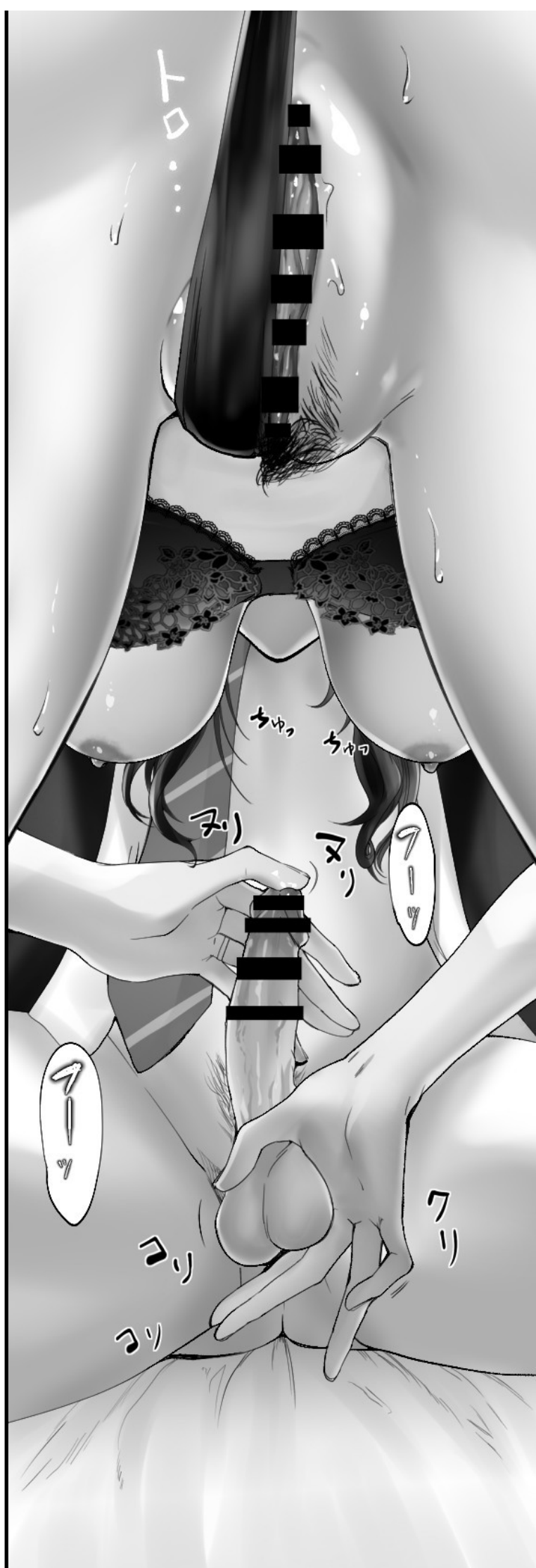
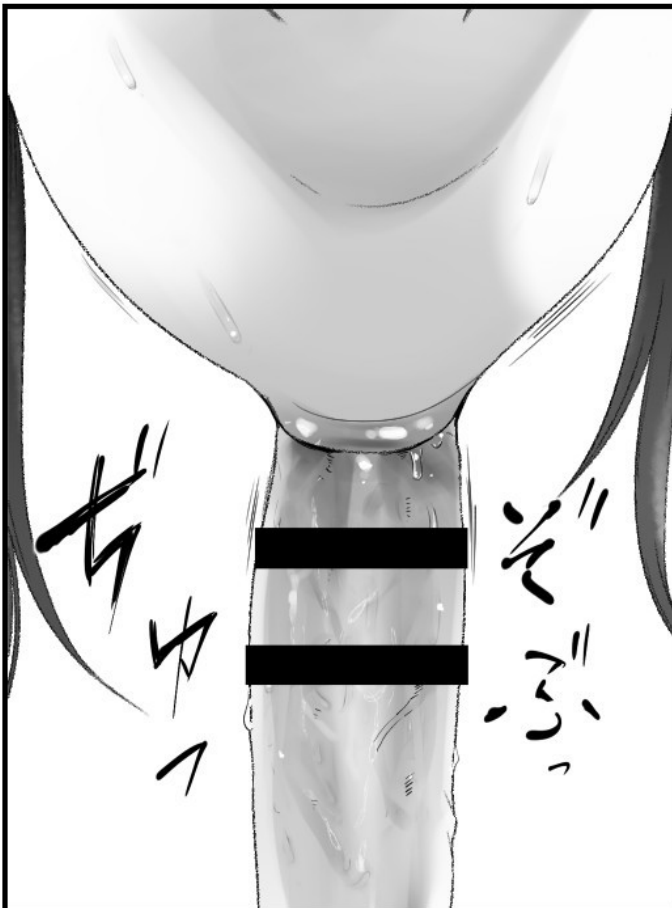
んっ



彼の私の中に

刻み込む...





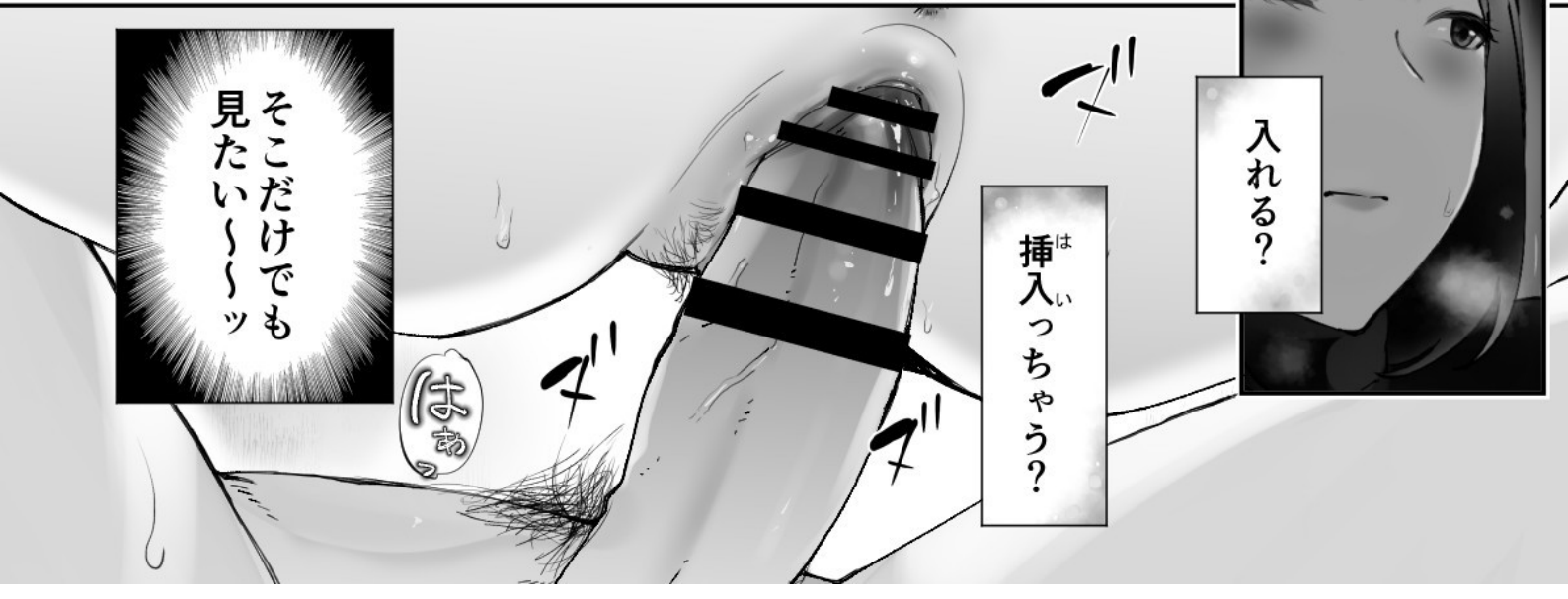


涼真くん...

...うん

スルッ

ぬと...



そこだけでも
見たいくっくッ

入れる？

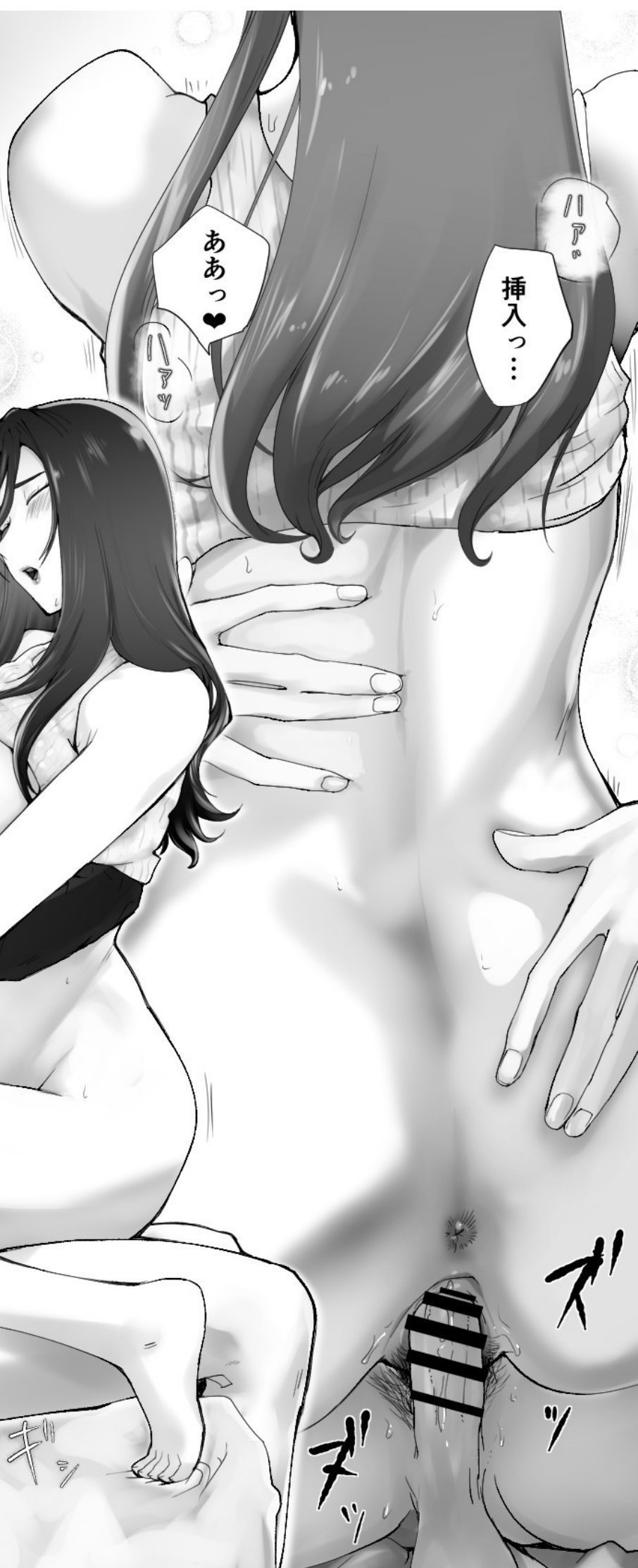
はっ
挿入っっちゃう？

はぁ

はっ

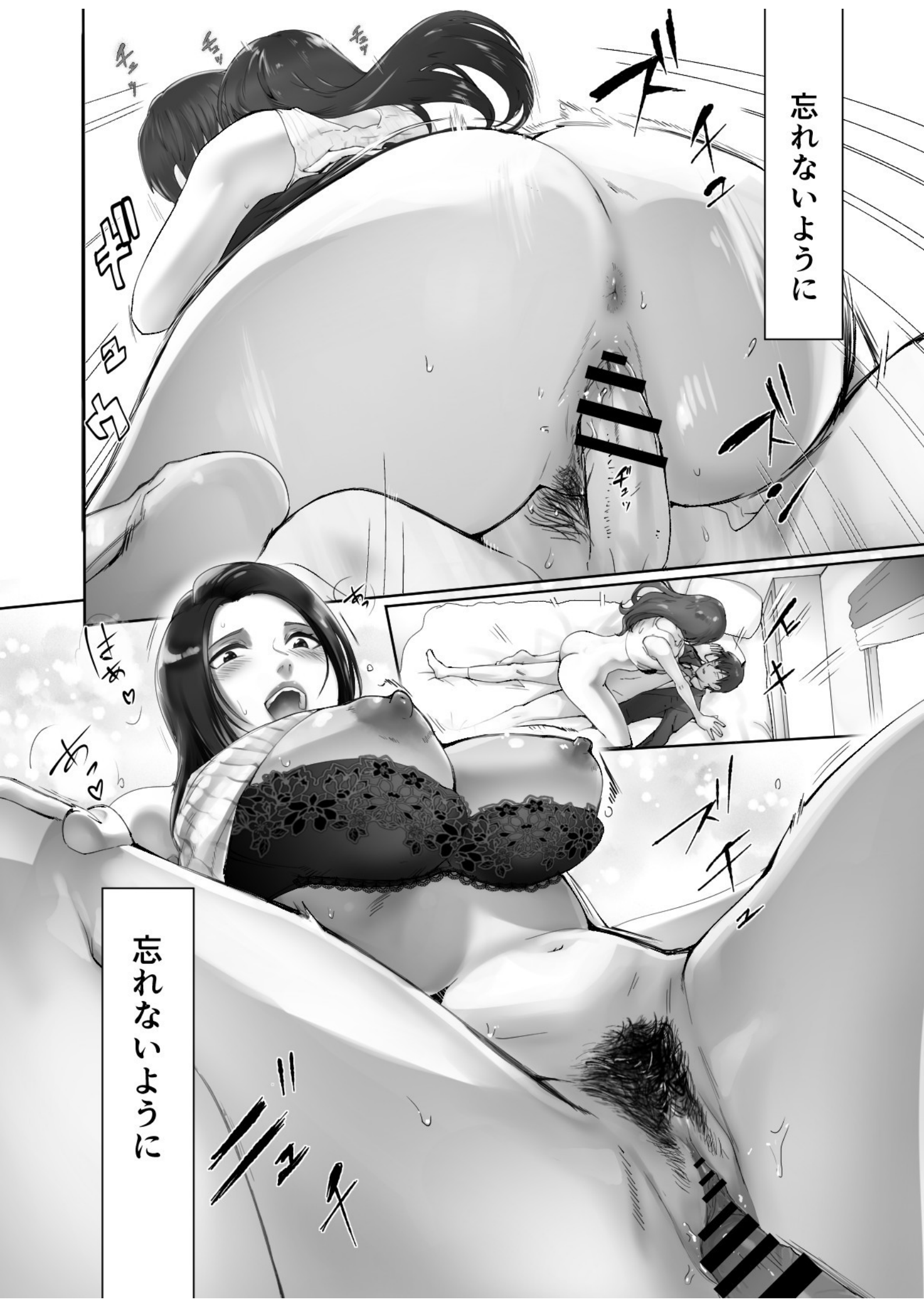
はっ

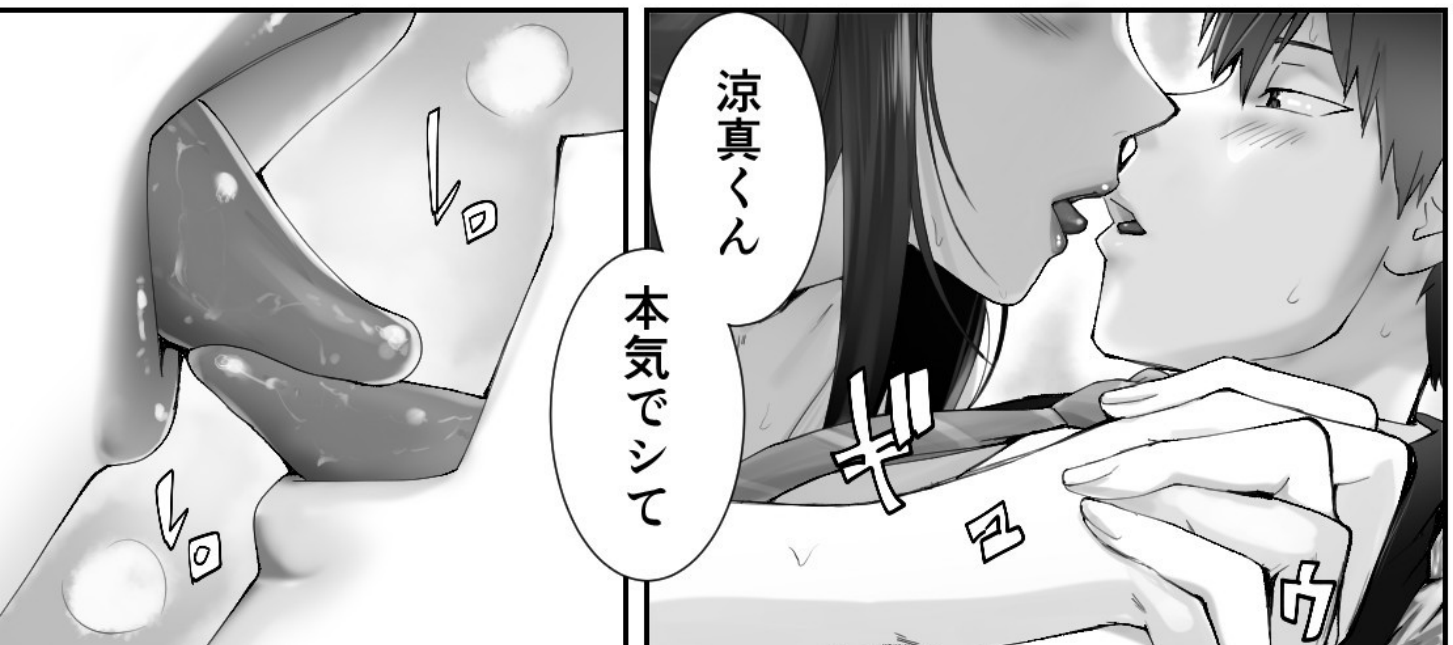
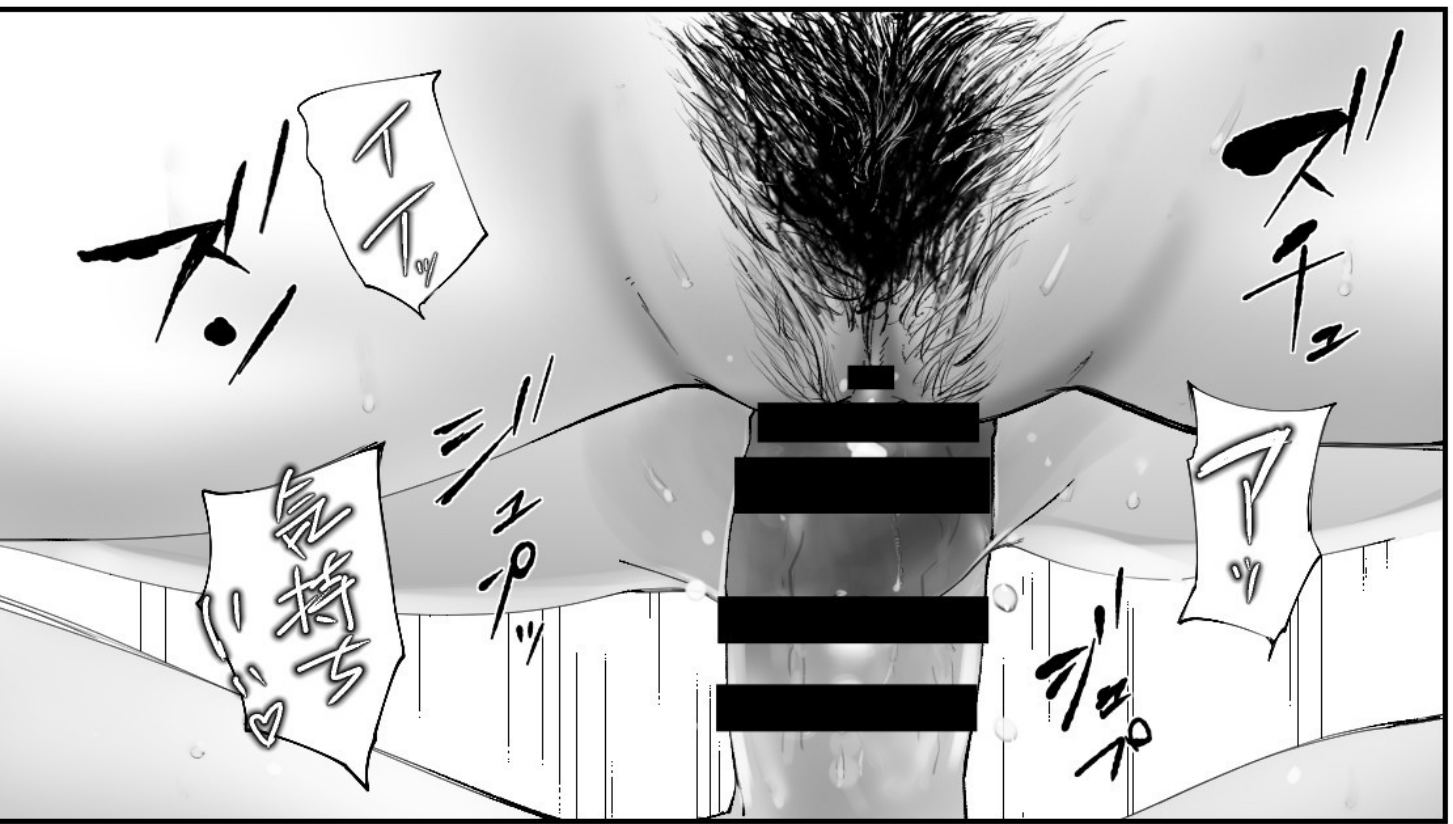
涼真くんの人生で
一番特別な存在に
なるの：




忘れないように

忘れないように

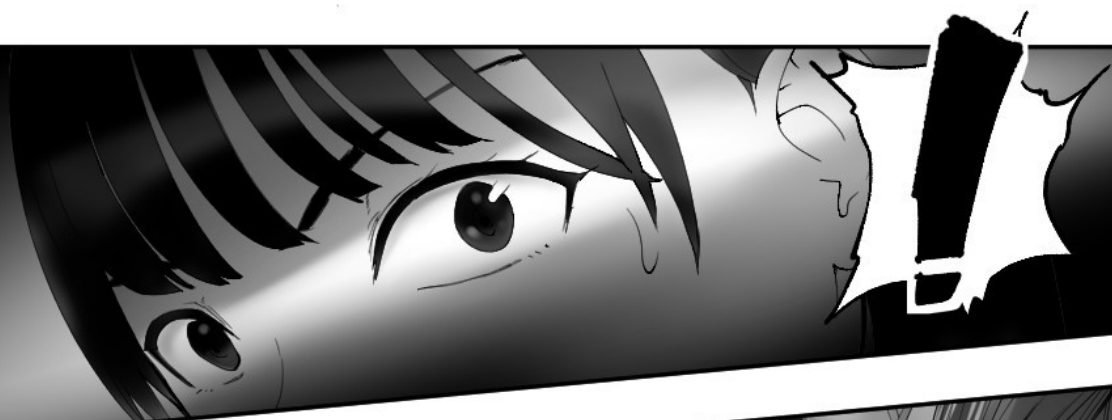






私との子ども
欲しいって思って

本気で



深野ママ…？

ママもやめて
名前で呼んで

でも…
そんな…

いいからお願い



「さん」も
いらない!



……滯…さん



滯…

そうよ…

滯ッ

そう!

滯!!



今だけは一人の女性として

絶対にッ
忘れさせないッ!!

愛して欲しいのお!



ママ…ッ

ヤバいって!

本気の子作りは

オオッ♡

ニユキ

ニユキ

ニユキ

ニユキ

涼真あ♡

涼真!

言ってえ!!

涼真ッ!!

愛してるって言って!

激しく突き上げてえ!!





アイッ♡
セックスッ

滞ッ!!

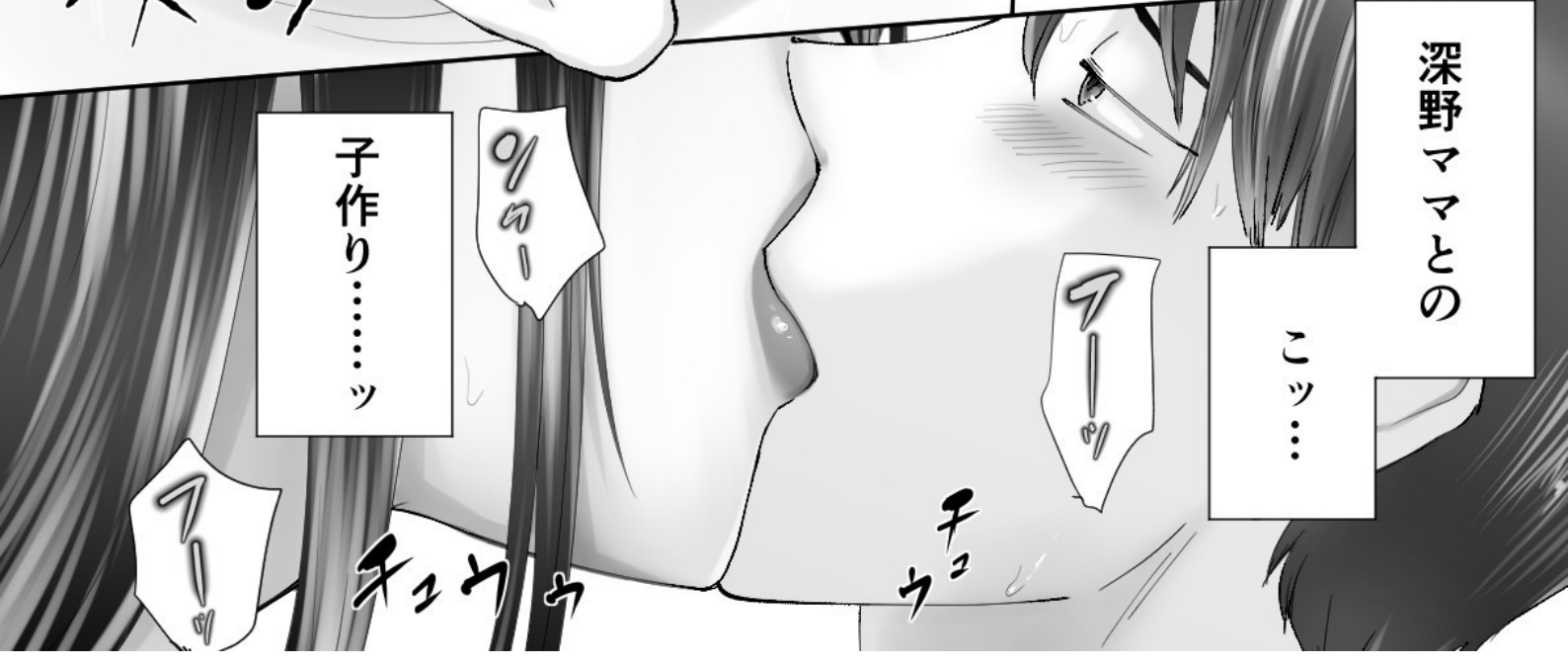


本気の…ッ



愛してるっ

愛してるッ!

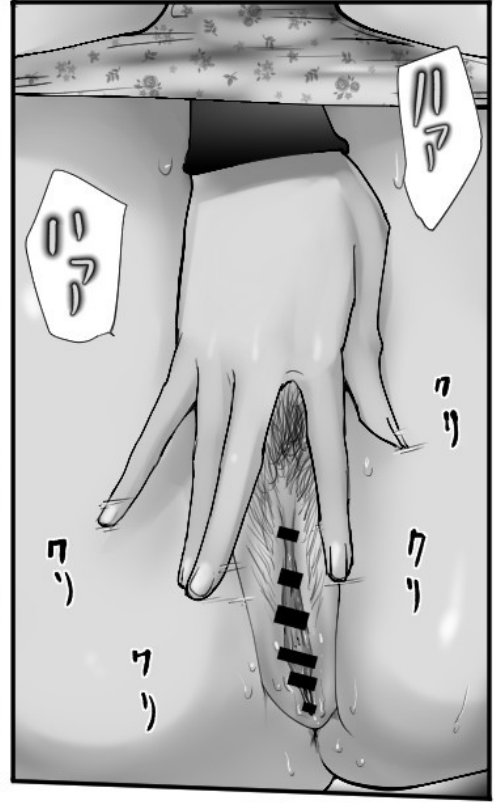


子作り……ッ



…ッ

深野ママとの



もう...
出そう!!

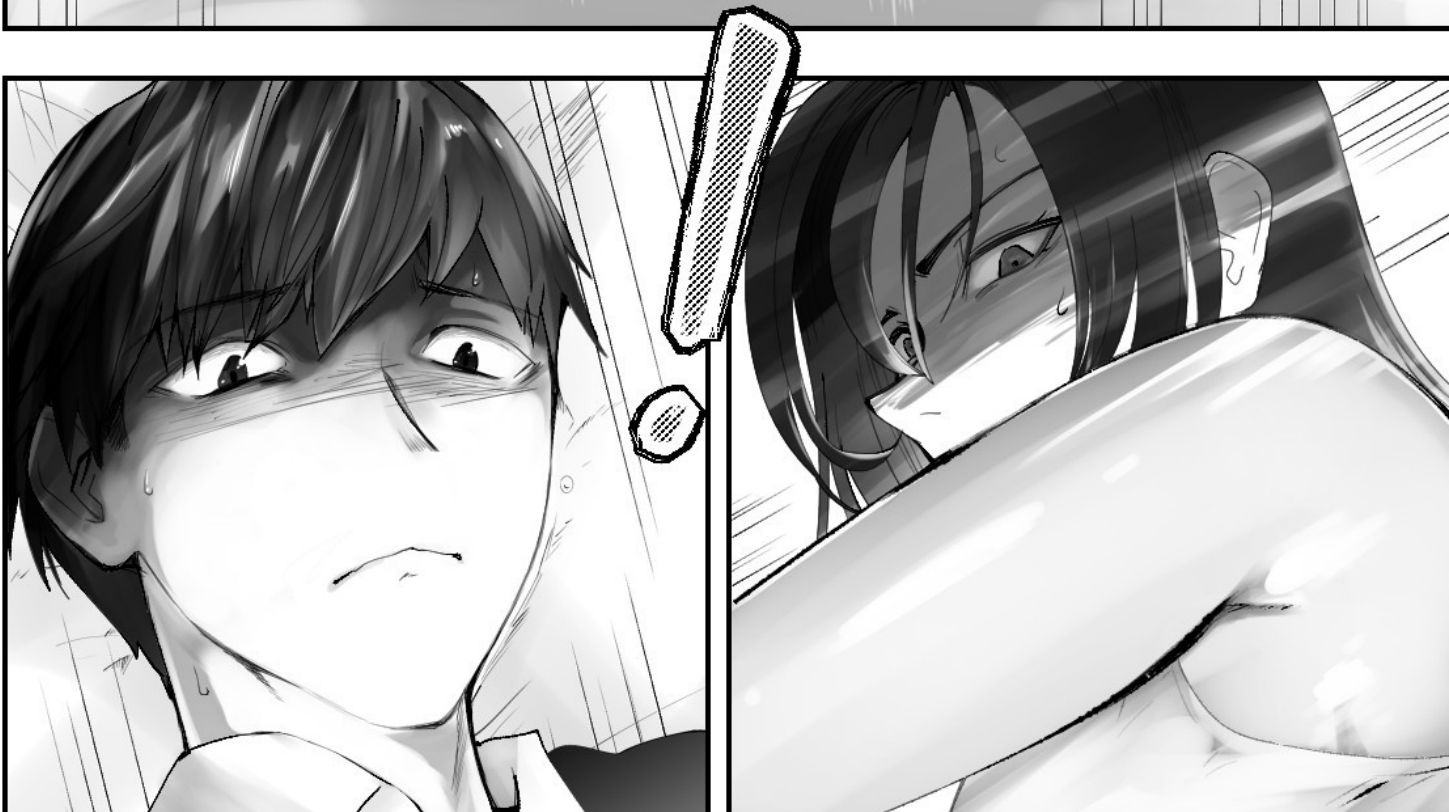
濡...ッ

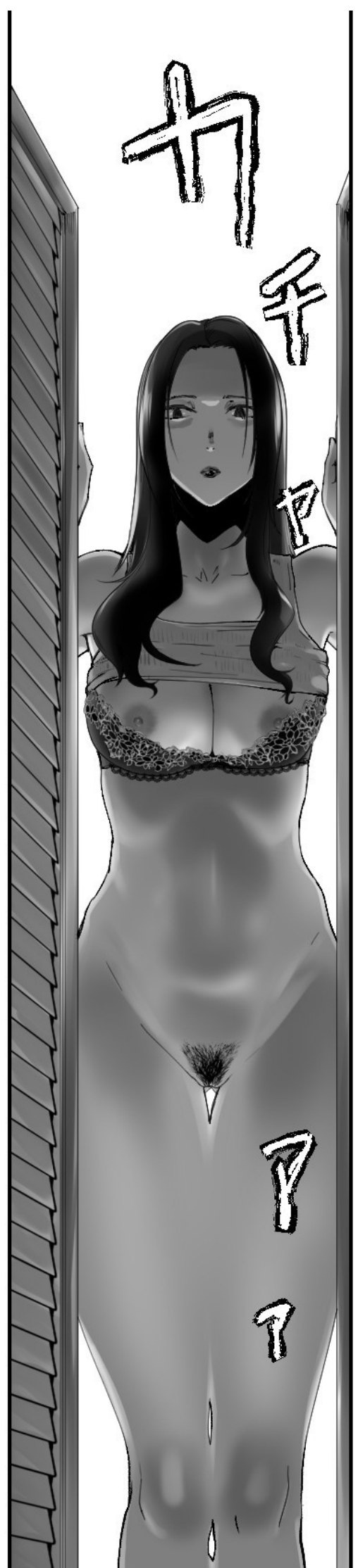


出してー!

本気で孕ませるつもりで
精子出してえ!!

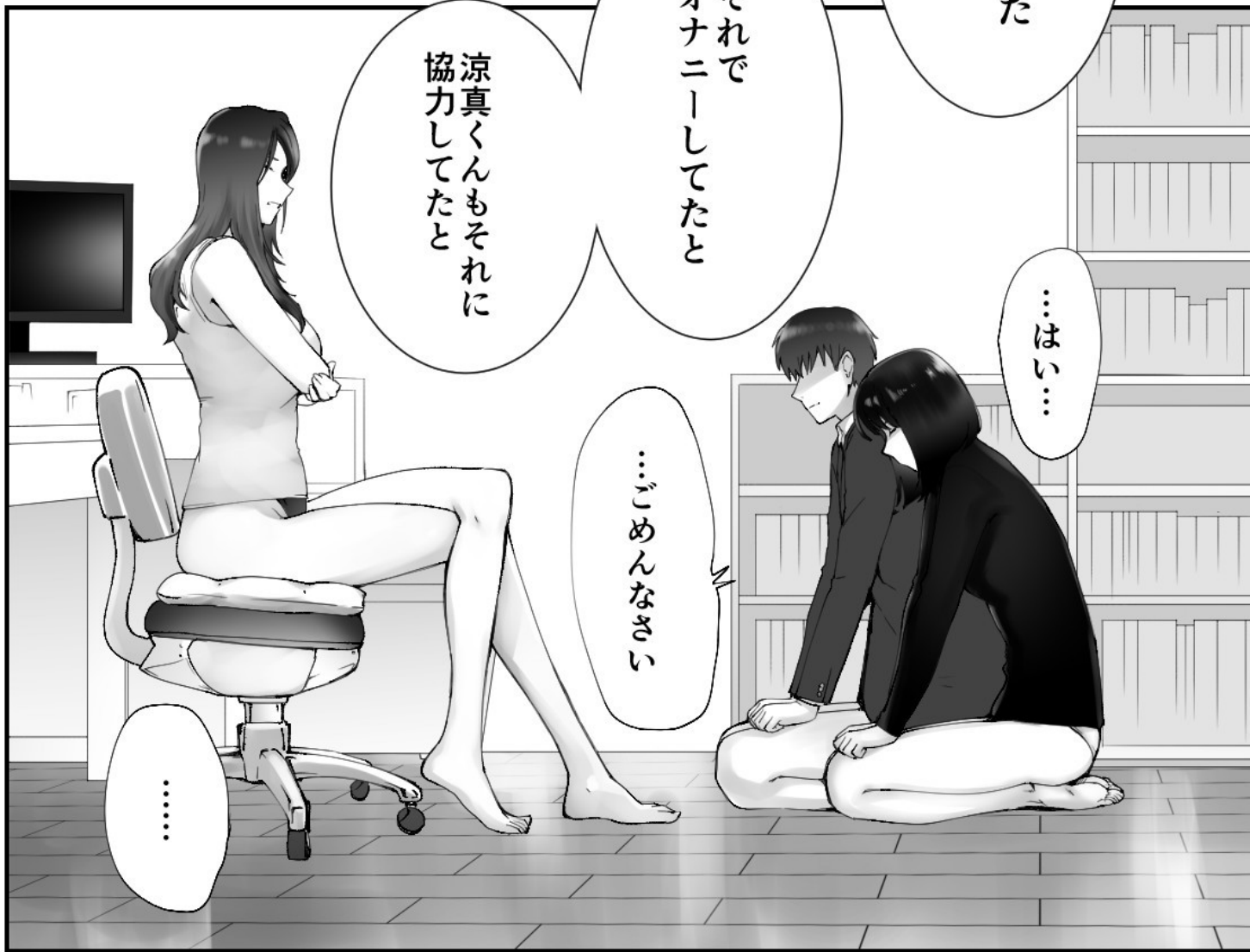








——で、また
盗撮して



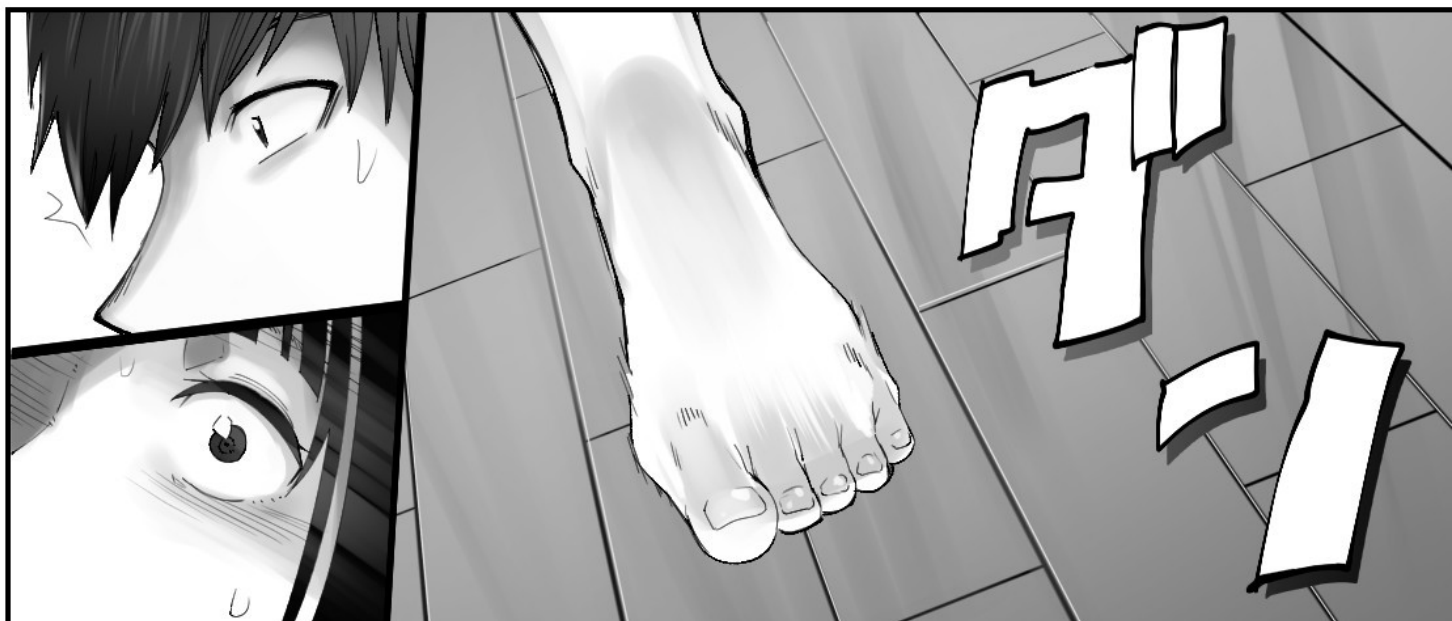
それで
オナニーしてた

涼真くんもそれに
協力してた

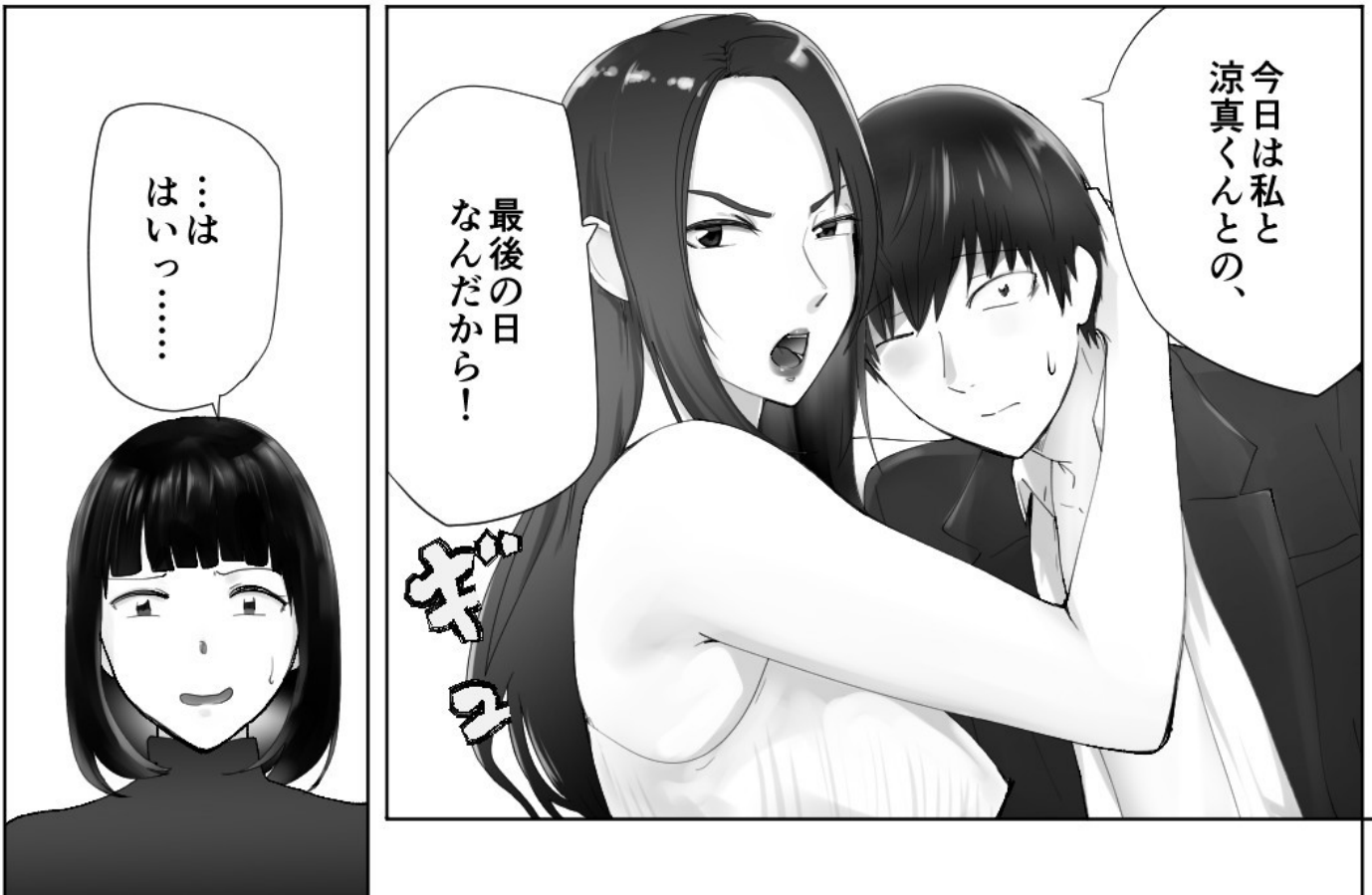
…はい…

…ごめんなさい

…

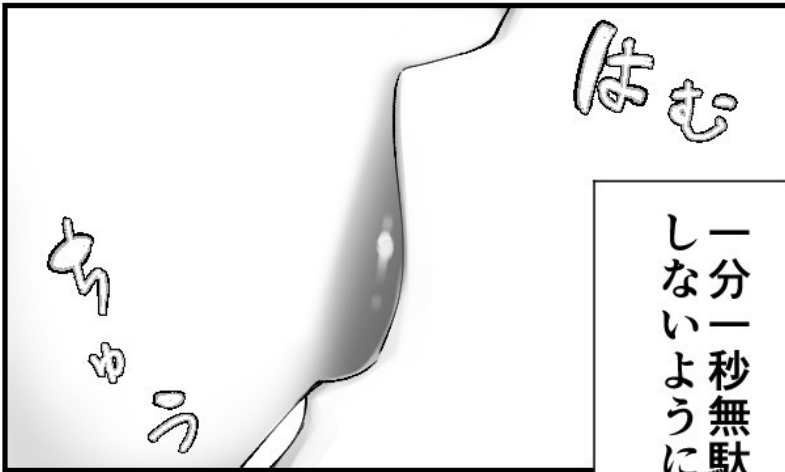


ガッ





今日が最後…



一分一秒無駄に
しないように

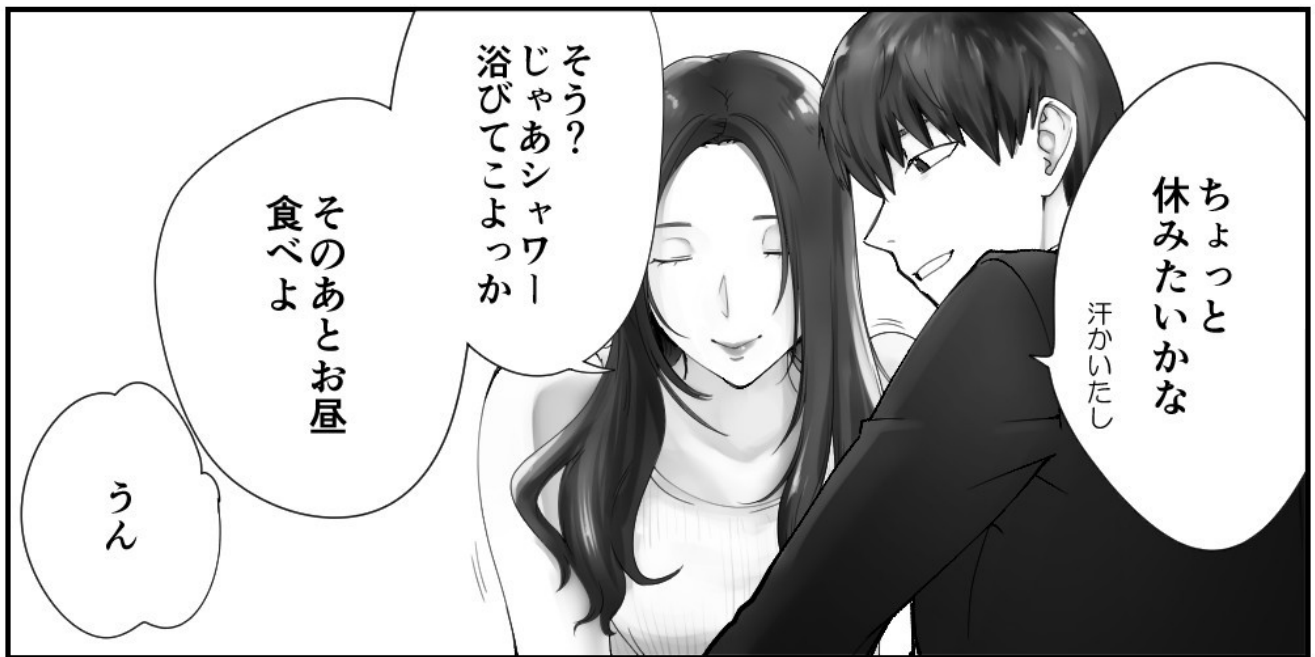


ママは必死だ



ぞくっ…





ちよつと
休みたいかな
汗かいたし

そう？
じゃあシャワー
浴びてこよっか

そのあとお昼
食べよ

うん



流石に邪魔しちや
悪いか！…

着替えよー

私は出掛けてくる。
帰りは18時くらいで



愛菜の分も
作る？

私が作るっか？

それはいいわ

え？



パパもそれくらいに
帰ってくると思うよ

わかった




ママは
涼真の心と体に
自分を刻んでいる





…ね、
私も洗って欲しいな



私を忘れないでって



甘い囁きと
エロい肉体で
必死に




必死に



うん…

わしゃ
わしゃ



あんな体験
一生残ると思う


消せない
傷：
呪い？

トラウマみたく
なっちゃうか

後々
いい思い出だったって
笑えるか：



今日
ここでやめないと
地獄だよ



頑張れ涼真



昔もこうやって
洗いあったなあ

時が過ぎるのは
あつという間ね



ヌル

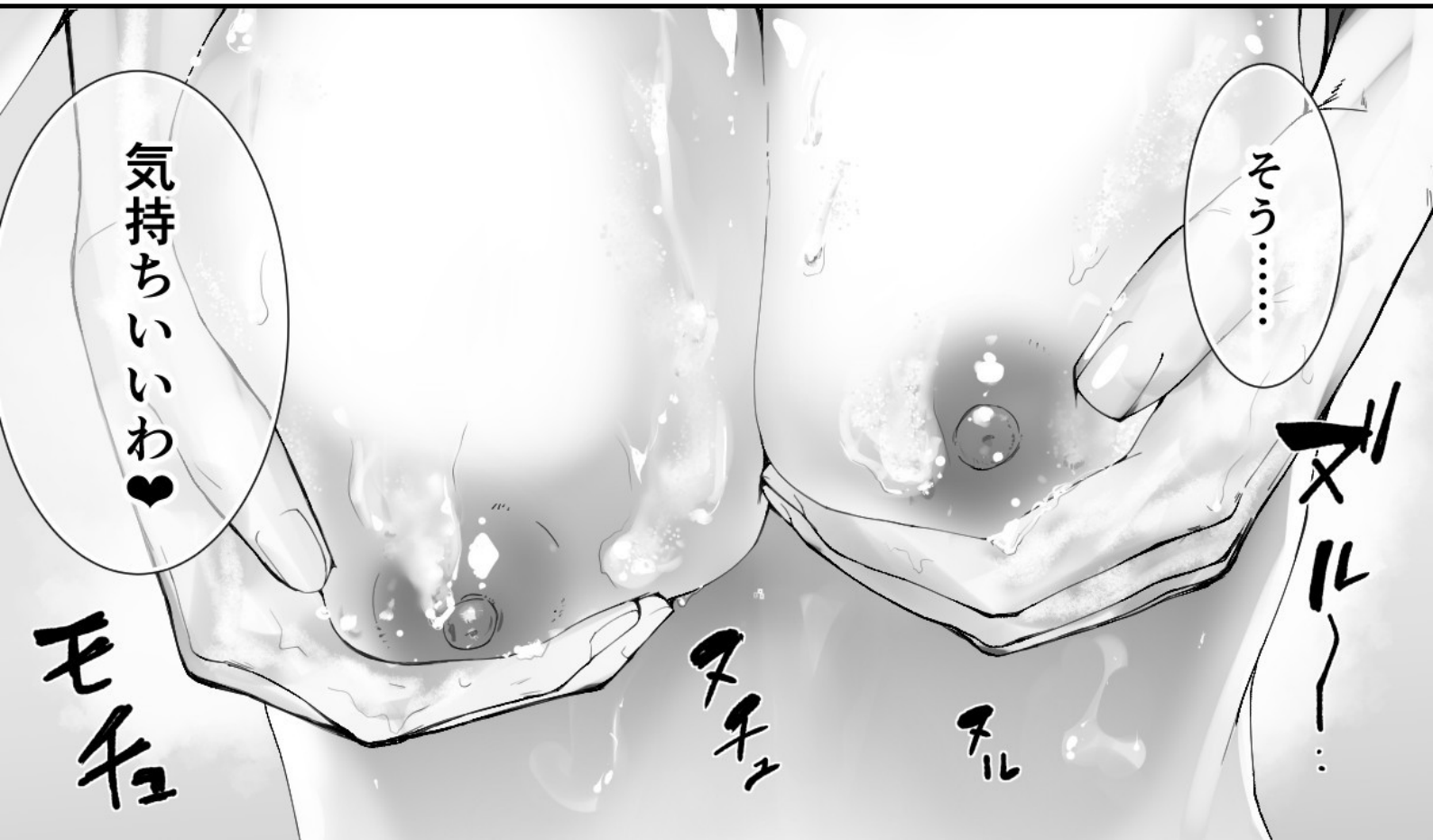
~~~~~

ヌル

~~~~~



涼真くん
前も洗って
くれる？



気持ちいいわ♥

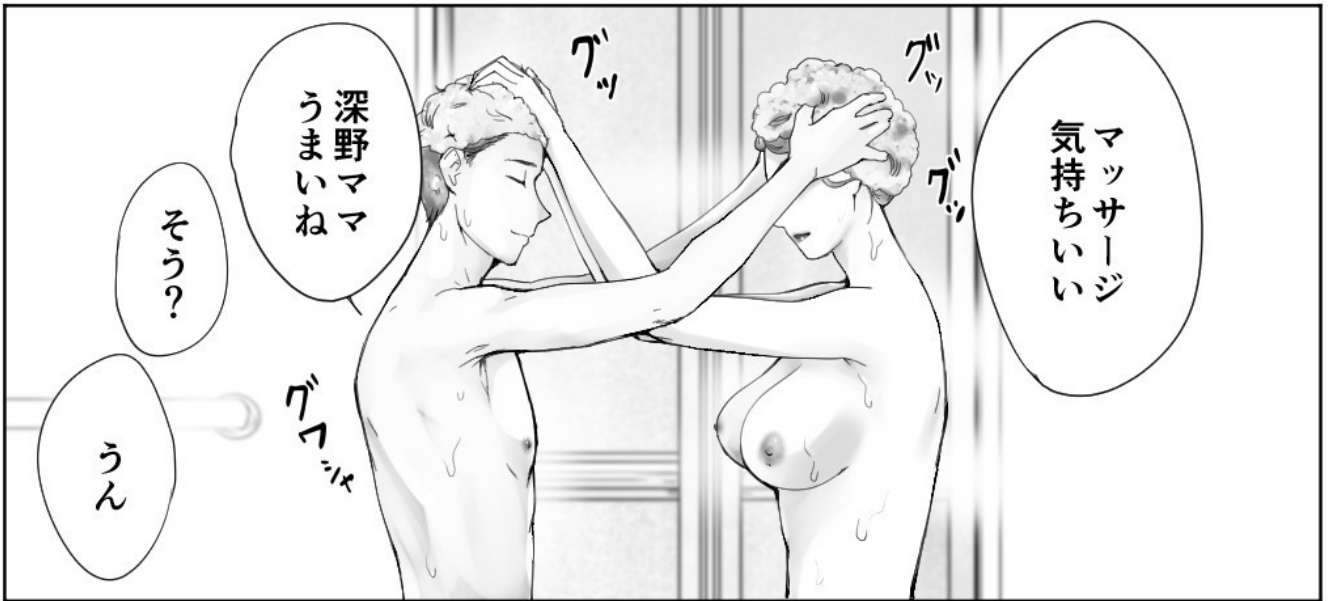
そう……

モネ

ヌル

ヌル

ヌル



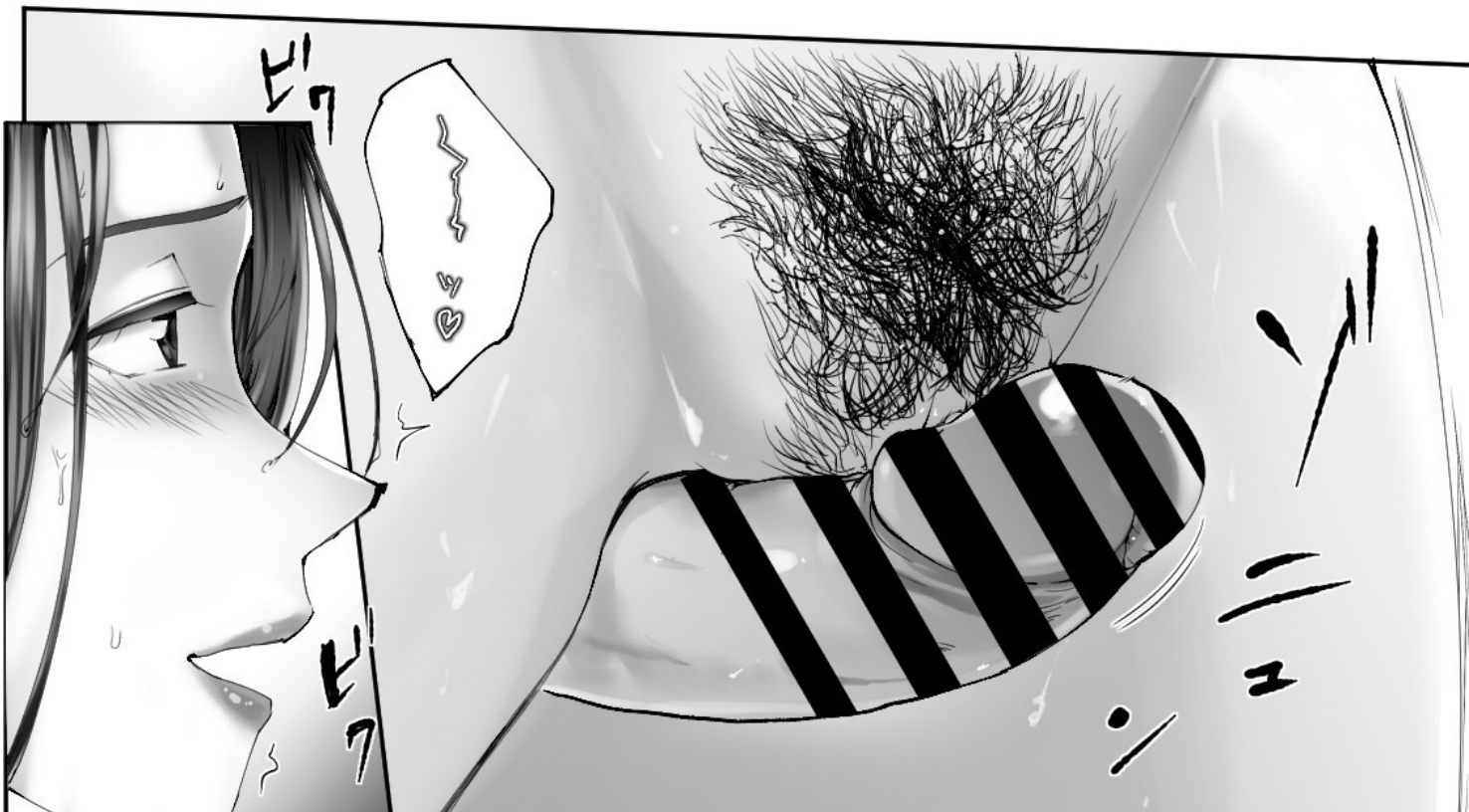
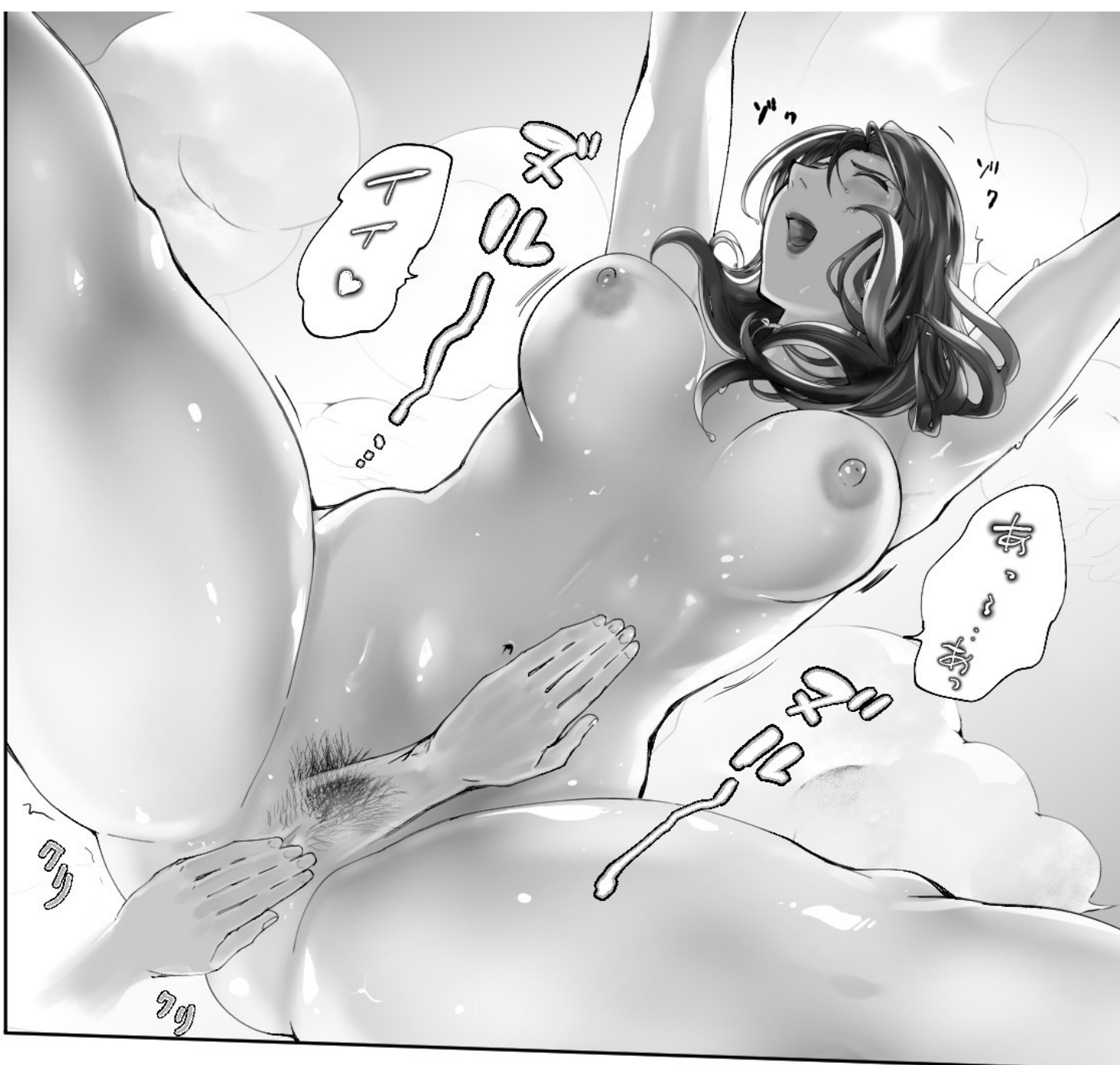


そうですね
お願い

下の方も洗おうか？



うん

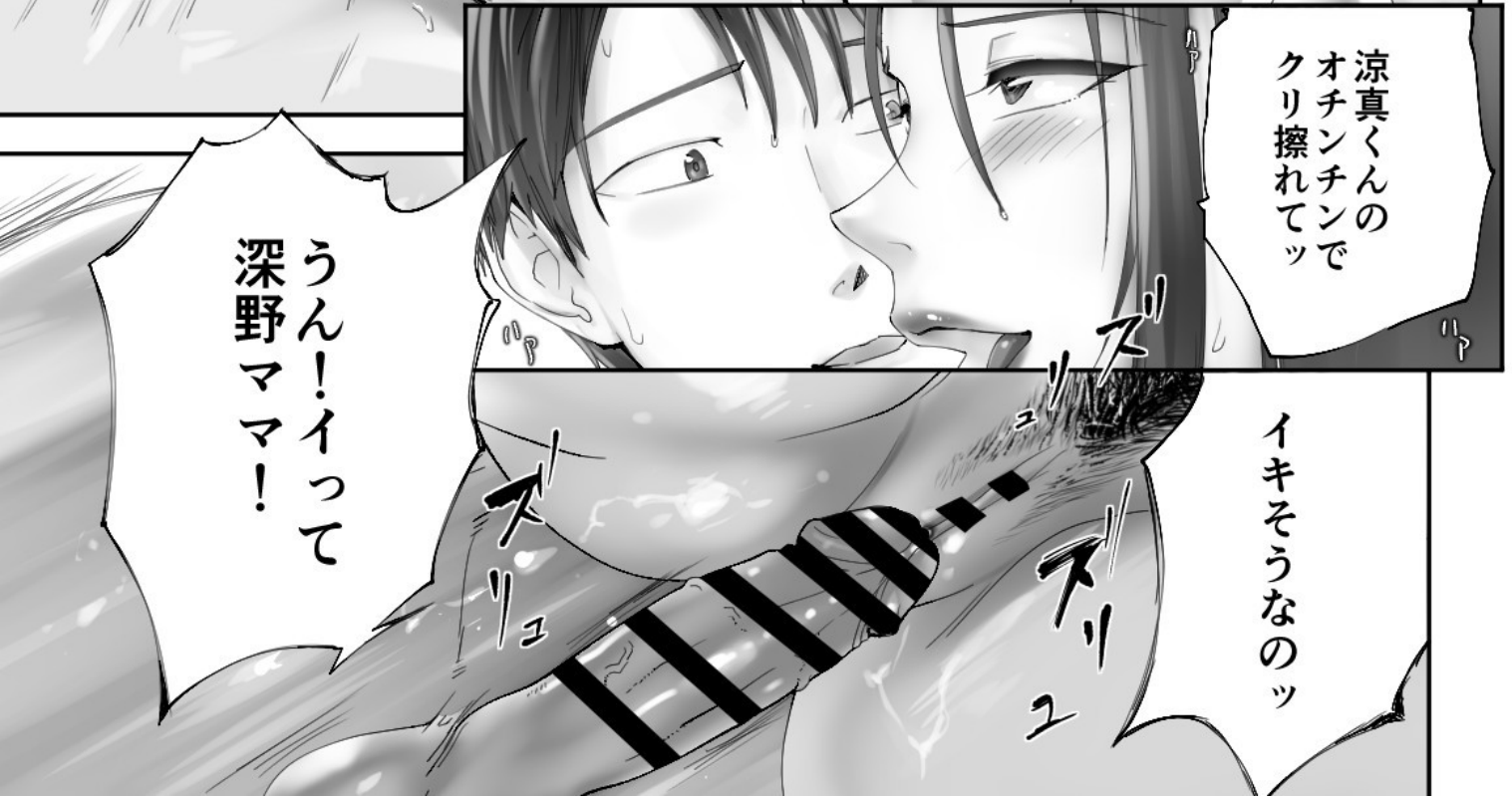


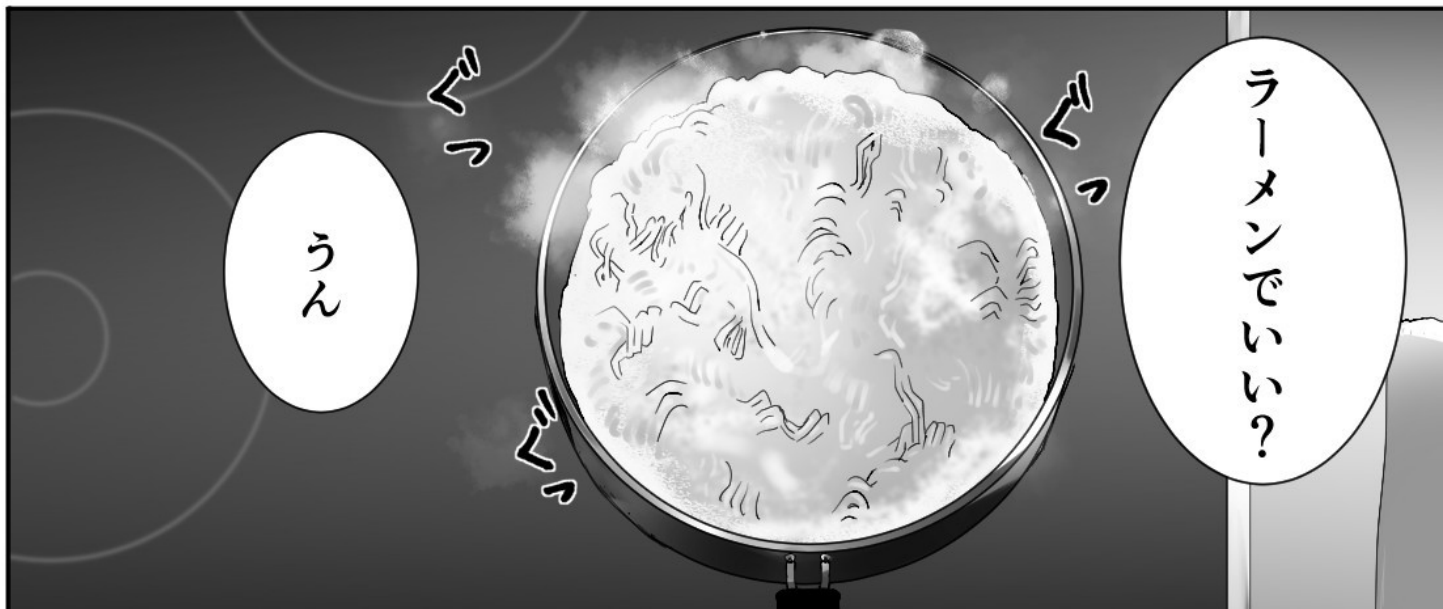


涼真くんの
オチンチンで
クリ擦れてッ

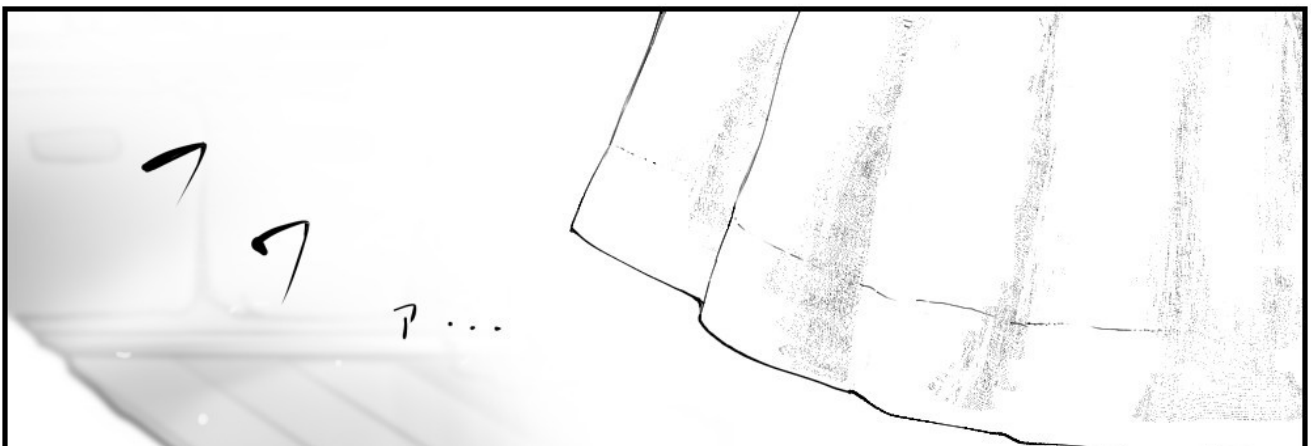
うん！イって
深野ママ！

イキそうなのッ











風が気持ちいい…

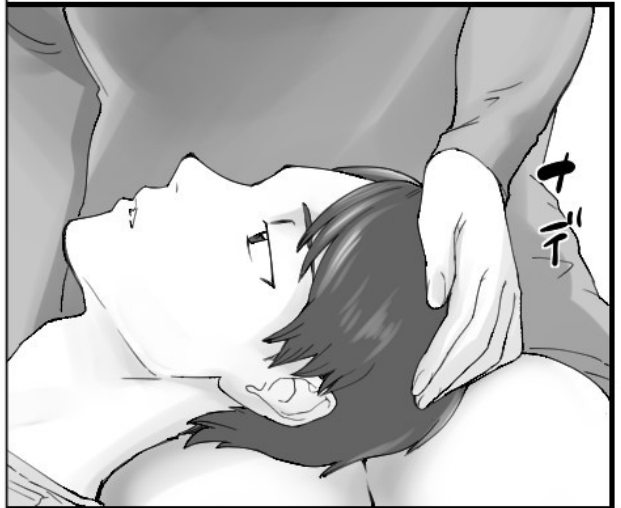


ギュッ

ギュッ

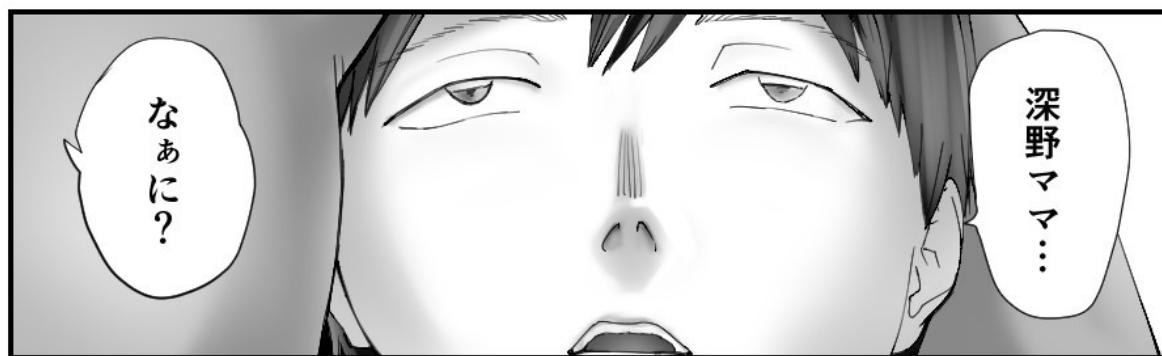
深野ママの
ひざまくらの

セックスの疲労感と
ラーメン食べた満足感…



アゲ







そんなに
飲みたいの？

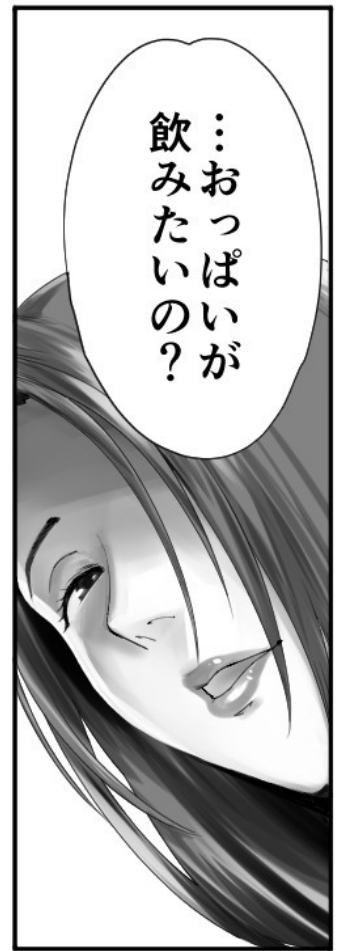
飲みたい〜

あらあら
しょうがない子ね

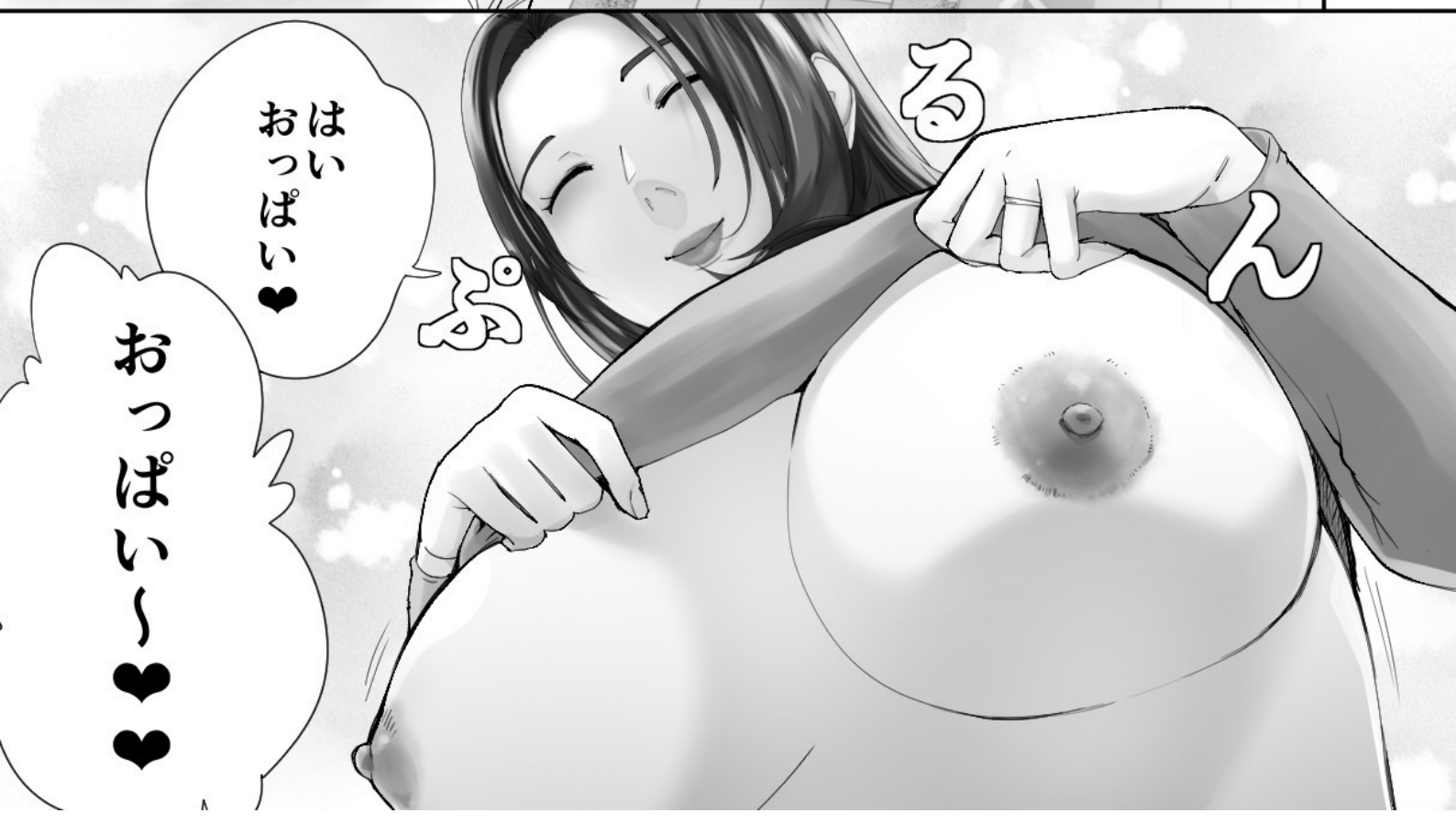


うん、
飲みたい

こんな
見られたら
死ぬわ



：おっぱいが
飲みたいの？



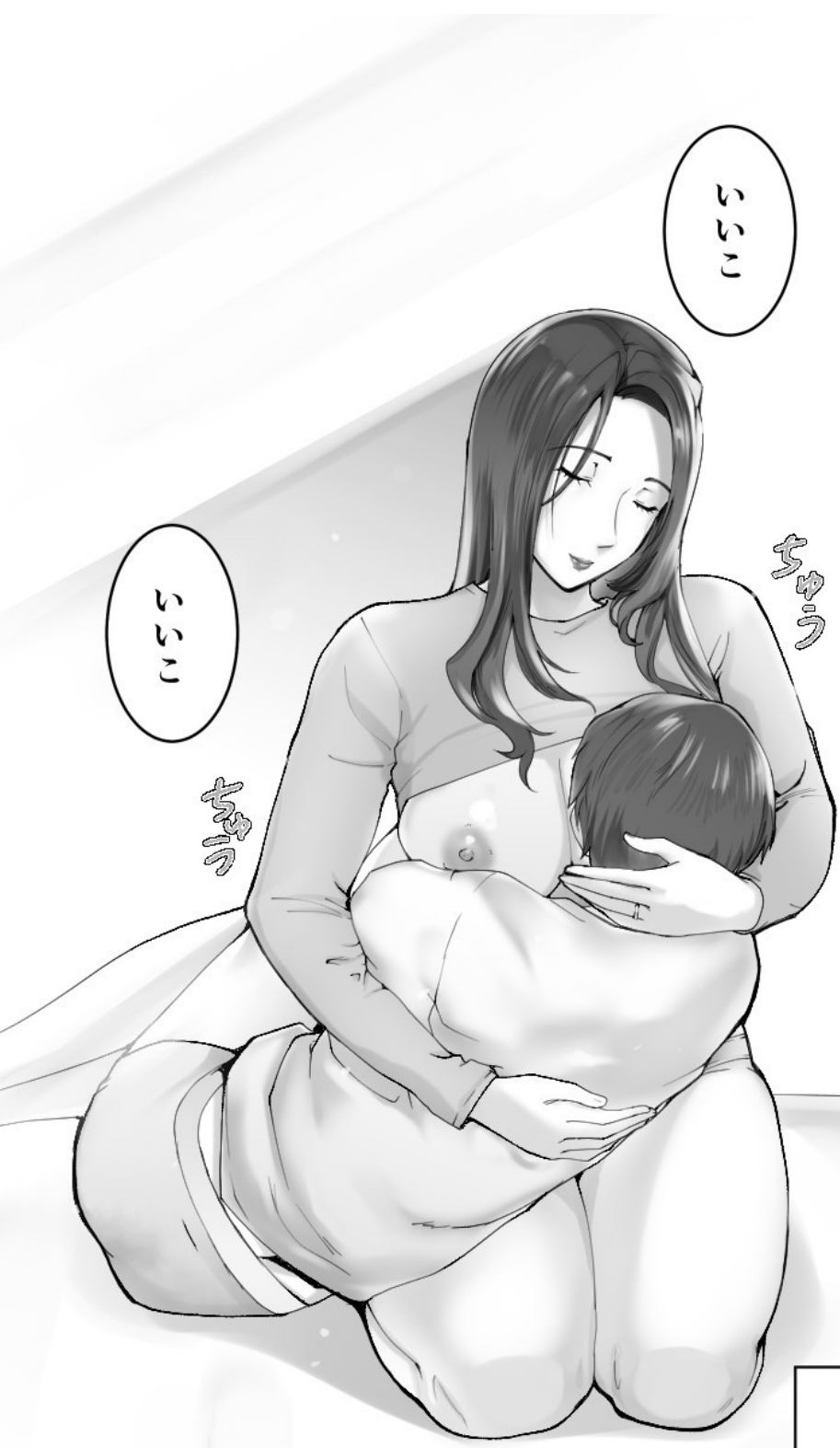
おっぱい
おっぱい ♡

おっぱい〜 ♡ ♡

ふ

る

ん



んん

んん

ちゅう

ちゅう



ん

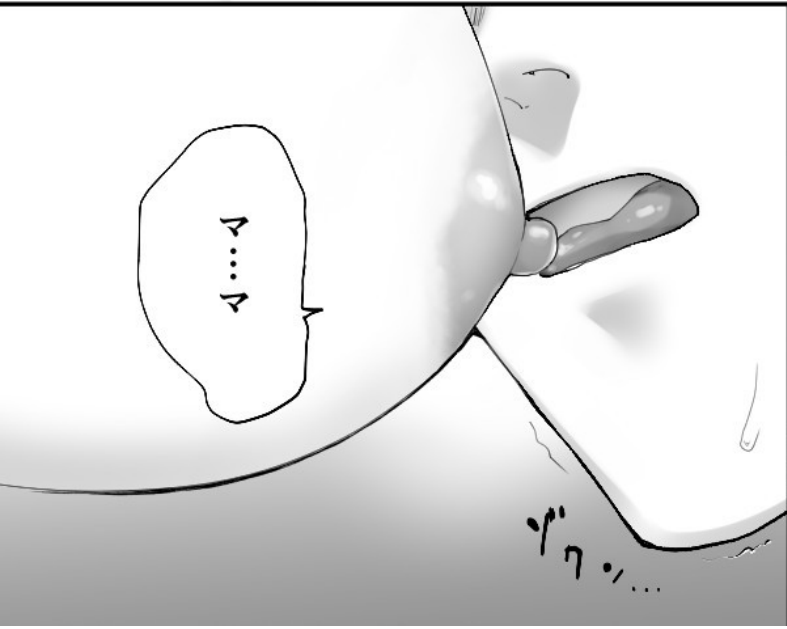
ちゅう

でも
もういいんだ

ん♡

もう恥とかい
どうでもいい

愛菜も見てないし
知られることもない



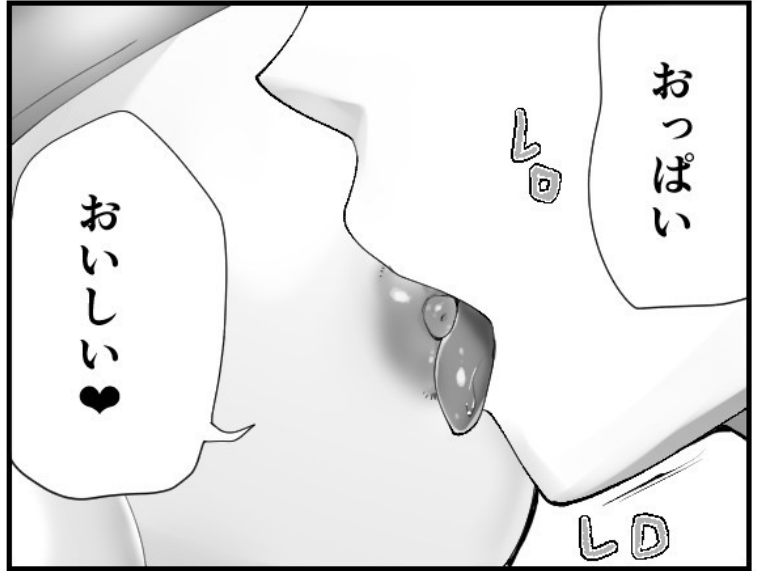
ママ...

んん...



あ♡

乳首っ



おっぱい

おいしい♡

しゅ

しゅ



そんな
いやらしく
おっぱい吸うなんて

ナデ
ナデ

んっ
んっ

んっ

イケナイ子ね♡



自分をさらけ出して
いいんだ...

ちゅ

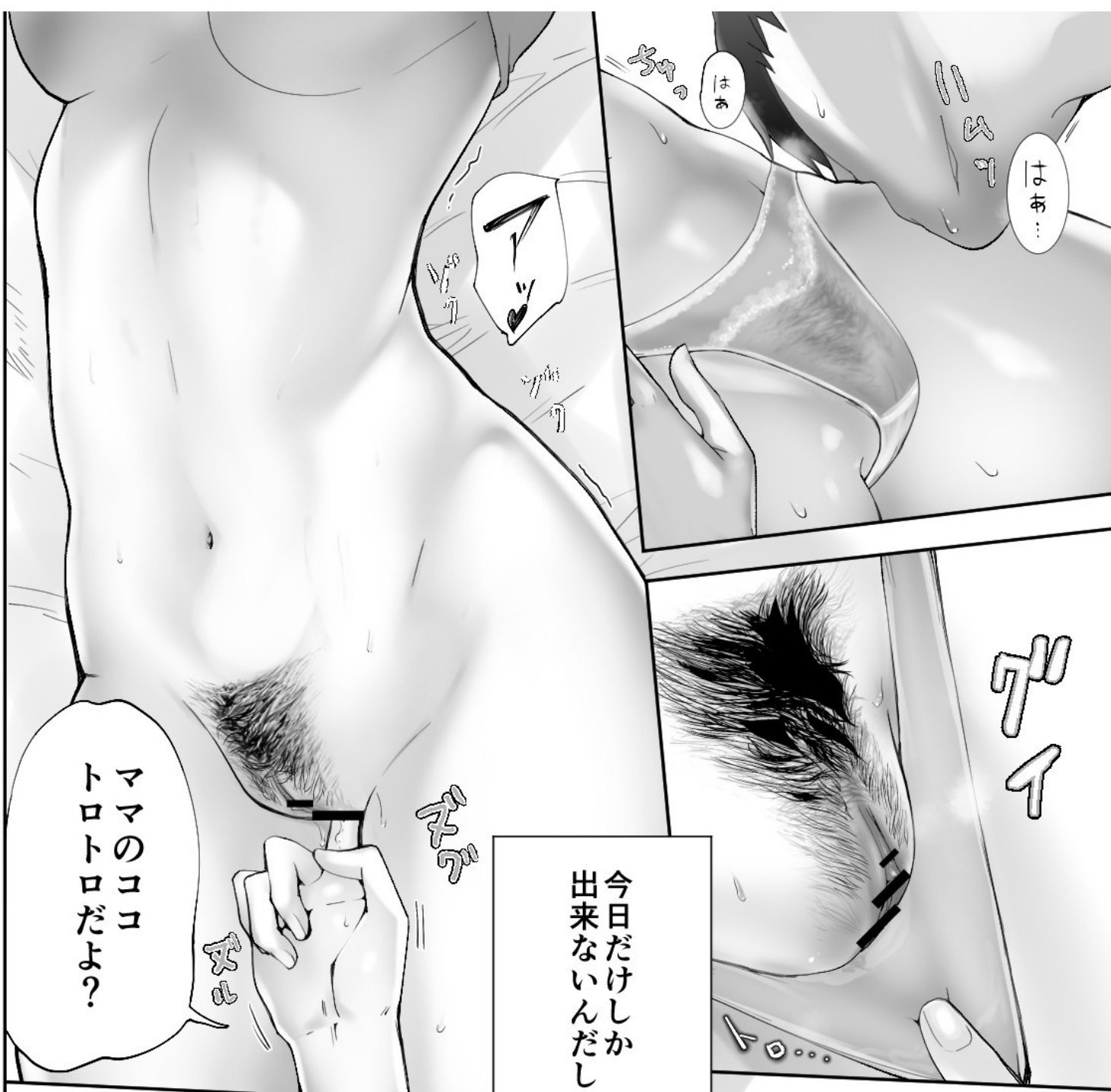
はむ

はあ

しゅ

サ?

深野ママは
全部受け止めてくれる



はあ...

はあ

ちやっ

はあ

ママのココ
トロトロだよ？

ブル

ズグ

今日だけしか
出来ないんだし

グイ



はあ

どうして
ココが
濡れてるの？

はあ

ちやっ

ちやっ

だつてえ...
そんな風
に吸われ
たらあッ...!!

あんっ♡
はあ♡



ママア…
ボクのココ、
こんなになってるんだ…

あらあら…♡

どうすればいいの？

そん…？
それはねえ♡

ブル

ブル



ママのおマンコに
入れてみなさい

そのギンギンになった
オチンチン突っ込んで
ズボズボして



思いっきり
気持ちよくなったら

今日だけ…

とっても
すっきりして
治るから

ブル…

ドクッ

ドクッ

今日で最後だからっ





これで終わり...

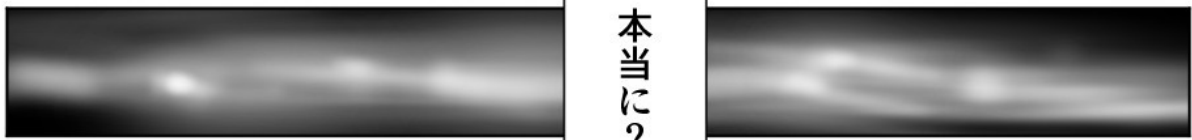
最後...

最後...ッ

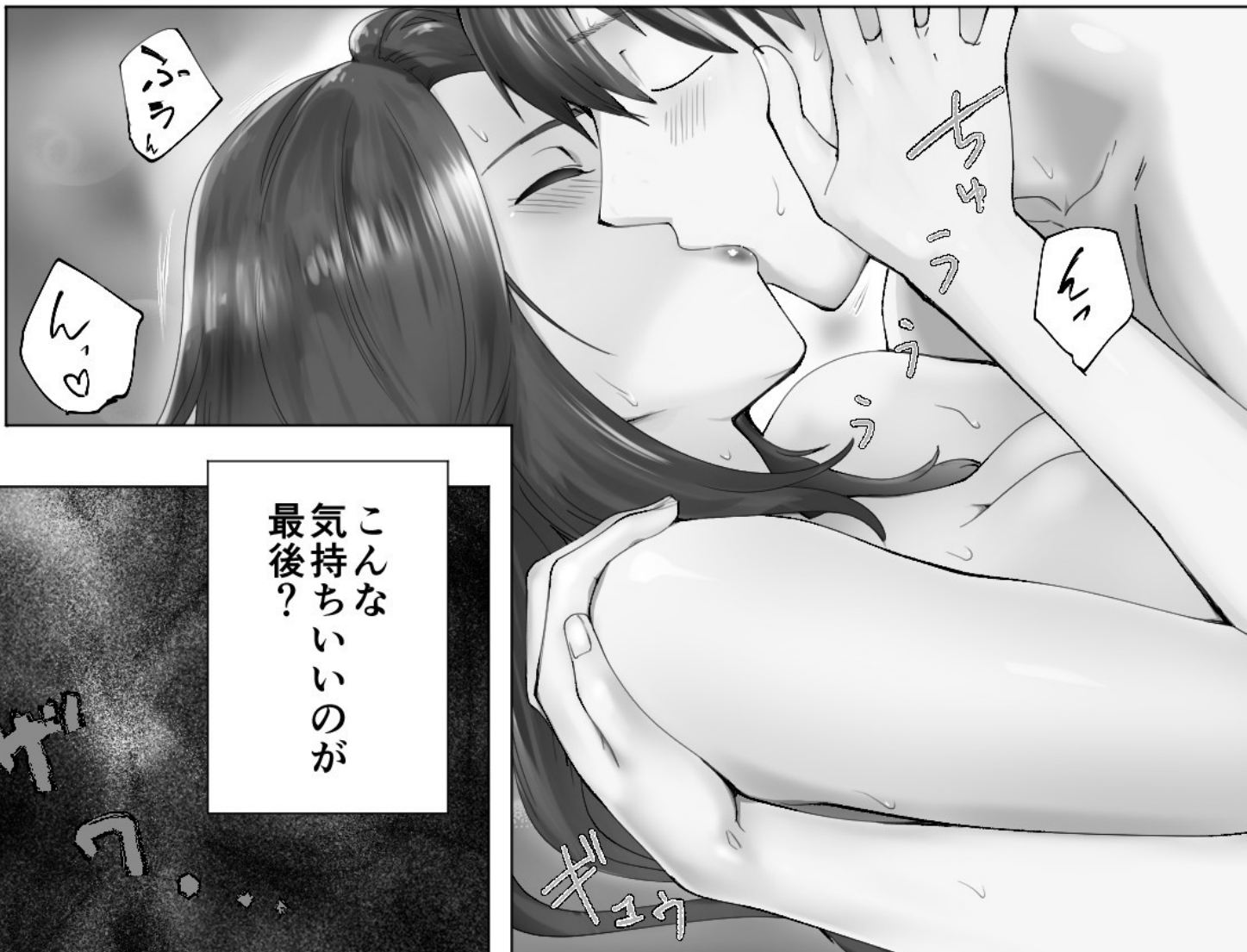
はあ

はあ

あ



本当に？



ん

ん

ちやう

ん

こんな気持ちいいのが最後？

キユカク



お尻も

お尻も

あぁ...

ムニムニ



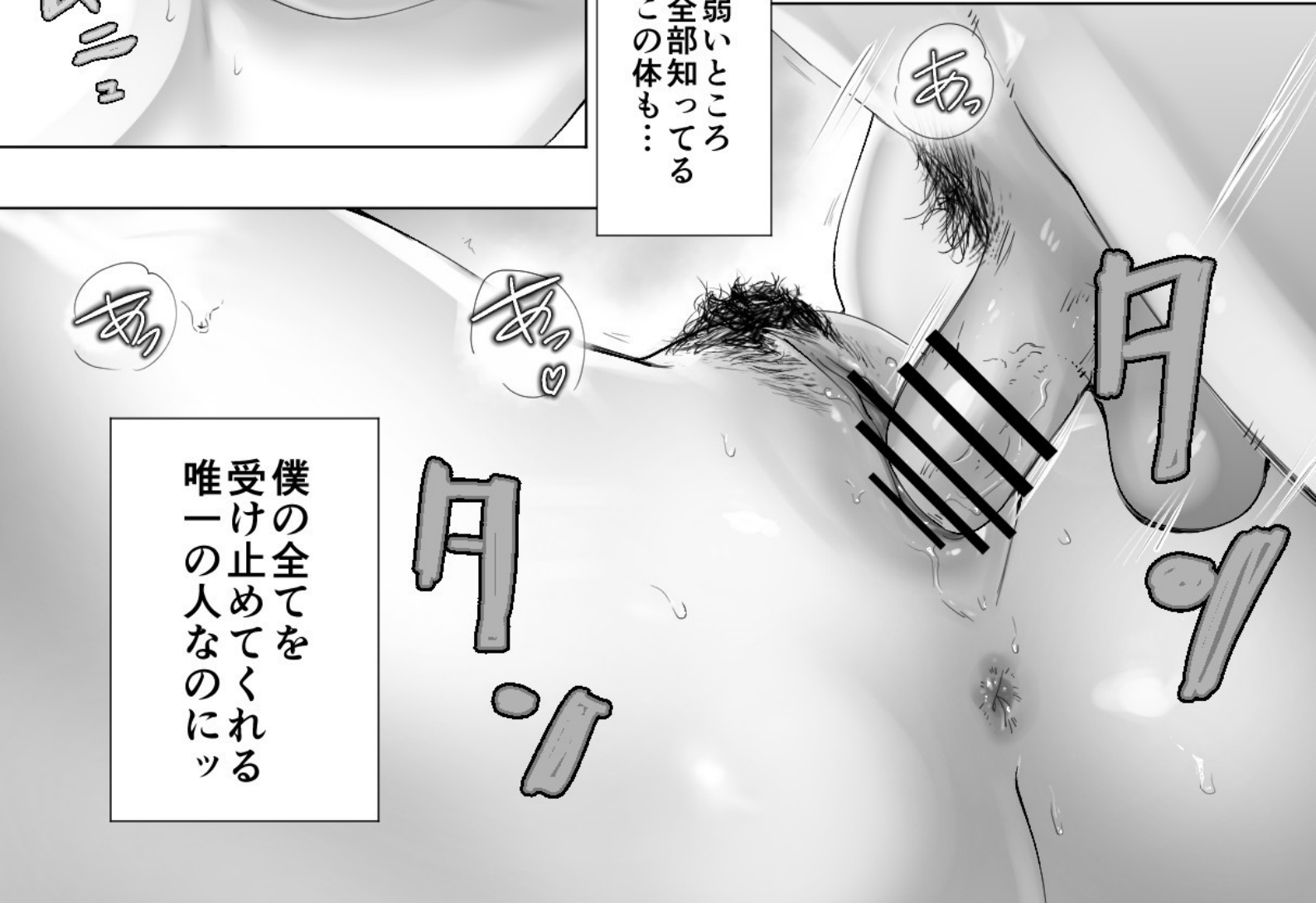
このおっぱいも

ハァ

ハァ

ハァ

弱いところ全部知ってるこの体も...



あぁ

あぁ

あぁ

僕の全てを受け止めてくれる唯一の人なのにッ

アッ

アッ





……自分で
決めたんでしょう？

今日で最後だって…

でもお…

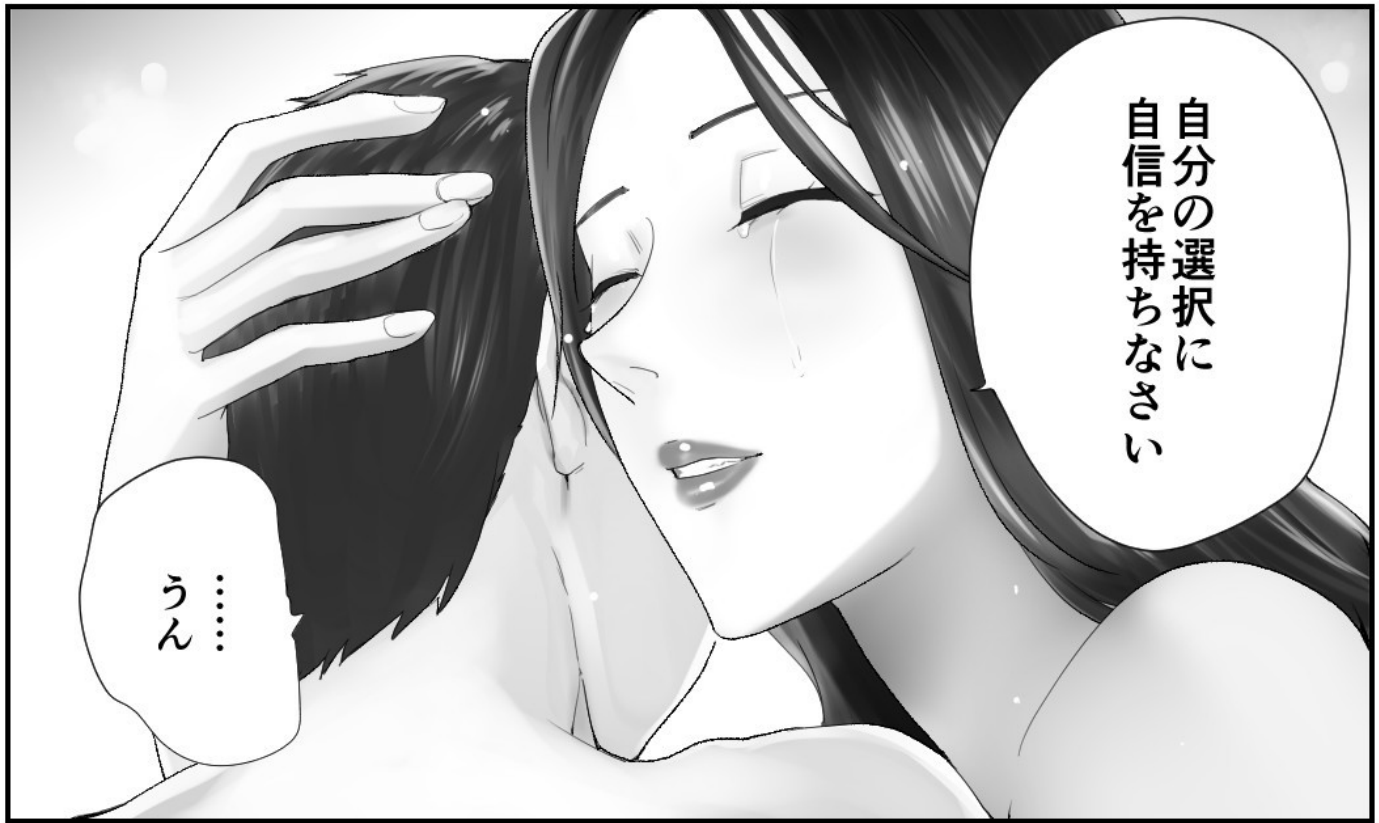
しっかりしなさい



私はいつだって
あなたのことが
大好きで

いつだって一番に
想っているから

大丈夫よ



自分の選択に
自信を持ちなさい

うん…



つらいことがあったら
いつでも頼ってね

ずっとずっと…
味方だから

味方…



わかった？

和 和

…ッ

うんッ！



深野ママ!

ありがとう!



大好きだッ!

今までで一番...



激しいセックスだった

カッ
カッ
カッ

カッ

あ

カッ

カッ

あ

カッ

あ

ズッ

ズッ

ズッ

ママッ
もうッ

出そう？

出る!!

出るよお!

精子
出ちゃうの!?

ママの中に全部
出してえ♥

ママに
中出ししてッ

イクッ
イクイク♥

ドル。









その償いは…
どうしたらいいの
かわからないけれど

私に出来ることは
何でもするから



本当にごめんなさい

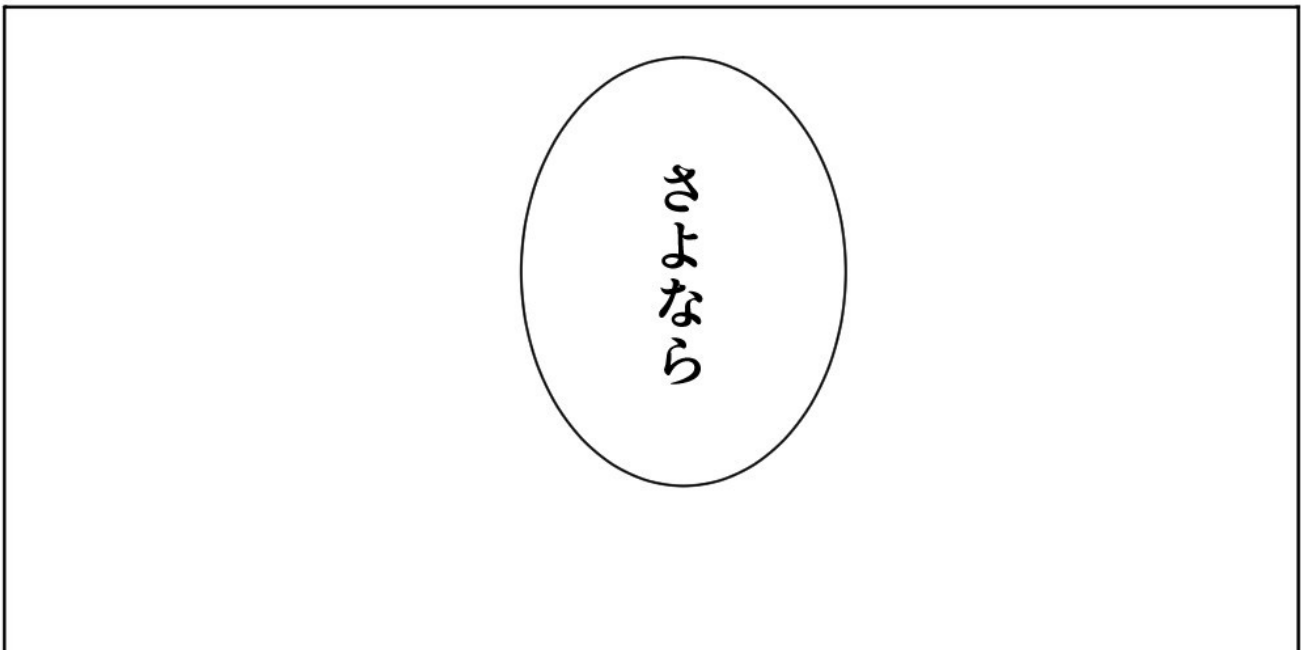
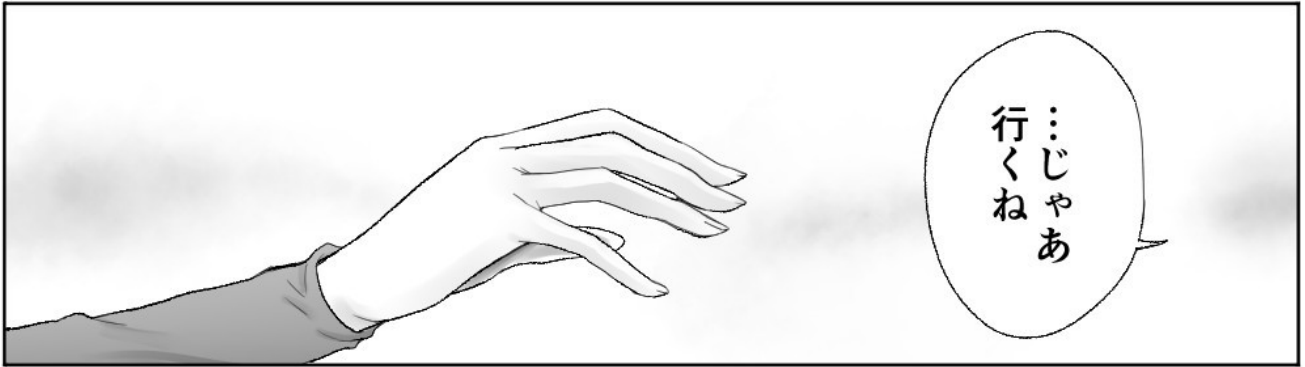
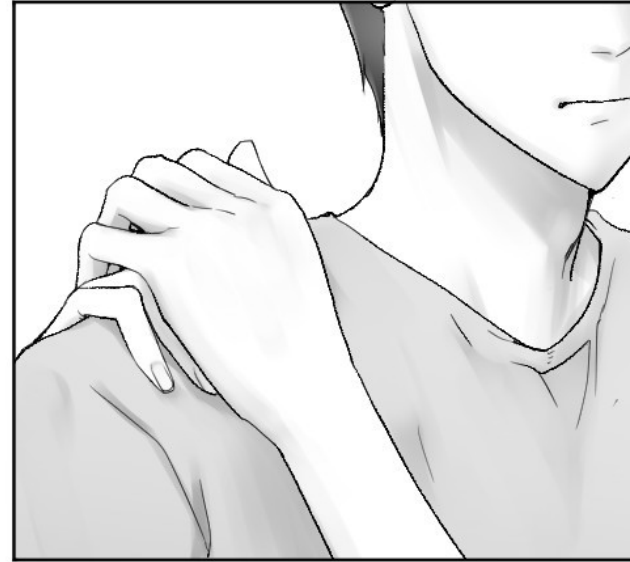
やめてくれっ

謝らないでよ!



つらいことがあったら
いつでも頼ってねって
言ったの

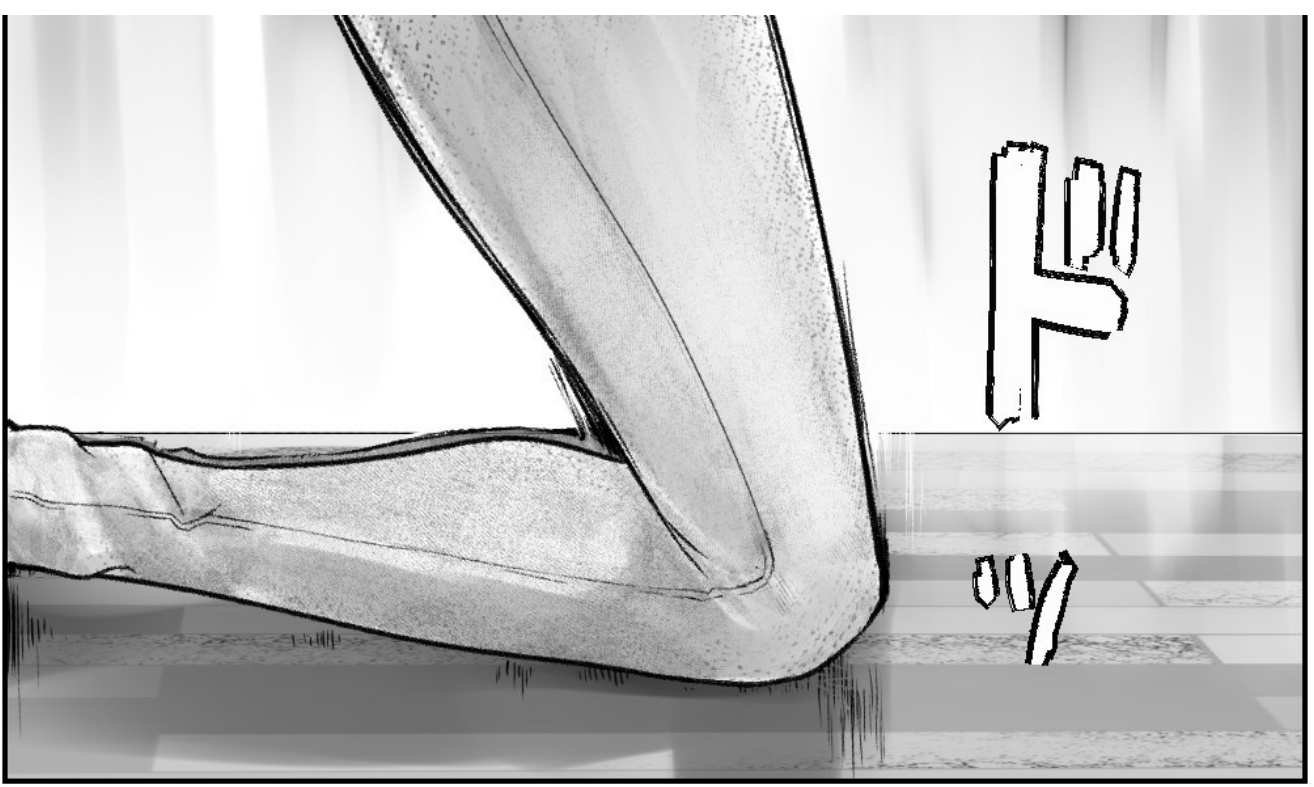
嘘じゃないからねっ





もう終わろうって
こっちから
切り出したのに。
いざ終わってみると

すごく
寂しくなったのを
覚えている



フ

フ



大丈夫...ツ

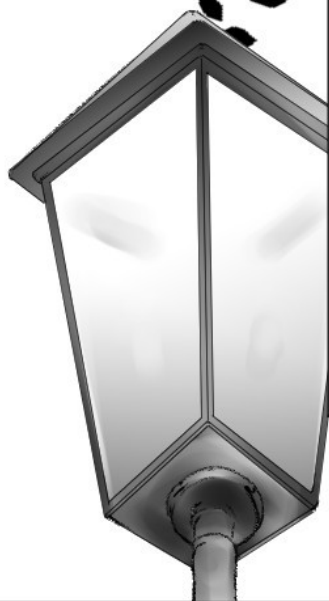
大丈夫よ...



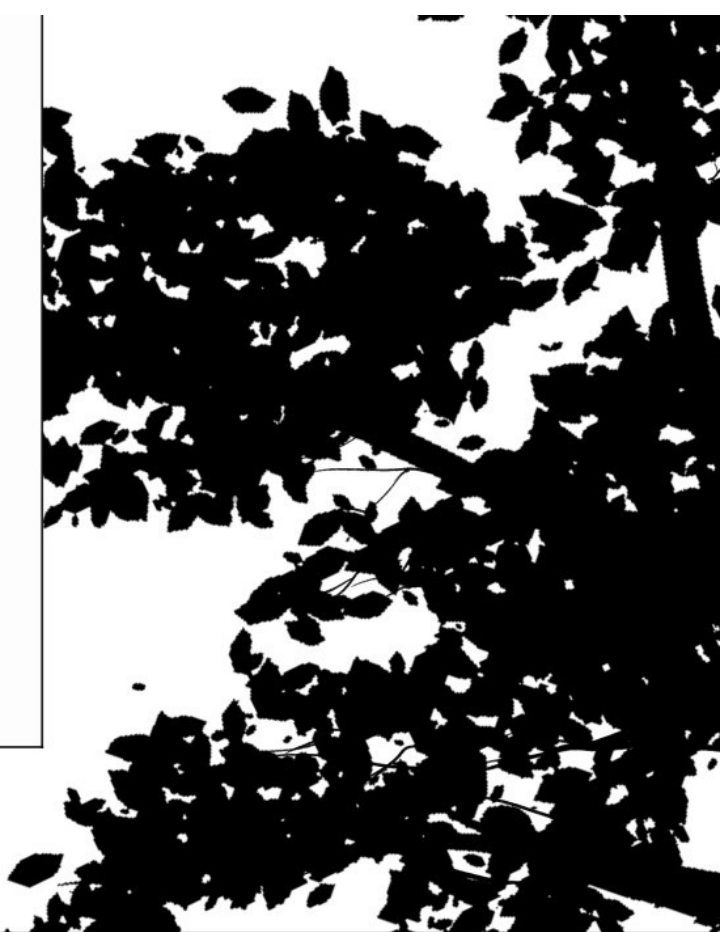
涼真くんは

あゝ...

戻ってくる



数年後



to be continued



ご報告

もうちょっと続きます。

あと二話だの最終回だのと引っ張って来てしまいました。
ずっと閉店セールやってるのに一向に閉店しない店
みたいなムーブはもうやめにして、本当の最終回の際にご報告
したいと思います。
もう少々お付き合いいただければと思います。



■サークル：ピンク作品置き場

■著者：ピンク☆太郎

■この作品はフィクションです。実在する人物・団体・事件など
には一切関係ありません。

■この作品を無断複写・複製・転載・転写・web上へのアップロードを
禁止します。